

豊岡市新しい地域コミュニティ導入ガイドブック

平成 27 年度

モデル地区事例集



平成 28 年 3 月

豊岡市



はじめに

平成 27 年 2 月に豊岡市新しい地域コミュニティのあり方方針が定まり、平成 29 年 4 月から地区公民館はコミュニティセンターに変わります。

それに向けて、平成 26 年度から 10 地区（八条地区、中筋地区、奈佐地区、中竹野地区、西気地区、弘道地区、小野地区、資母地区、合橋地区、高橋地区）、平成 27 年度から 15 地区（豊岡地区、新田地区、港地区、神美地区、城崎地区、竹野地区、竹野南地区、八代地区、日高地区、三方地区、清滝地区、福住地区、寺坂地区、菅谷地区、小坂地区）の計 25 地区が「モデル地区」としての取組みを開始しています。

このモデル地区事例集は、豊岡市新しい地域コミュニティ導入ガイドブックの別冊として、平成 28 年度からスタートするモデル地区の具体的な参考例として、また、モデル地区相互の情報共有の一助となるよう、各モデル地区の取組みをまとめたものです。

市内 29 地区それぞれのやり方で地域づくりに取り組んでいただきますが、各地区の経過や内容などの実例を、一つの参考にしていただければ幸いです。

本紙掲載情報について

- ・地区の概況 平成 28 年 1 月 1 日現在
- ・組織の状況 平成 28 年 3 月 25 日現在
- ・これまでの経過 平成 28 年 3 月 25 日現在

目次

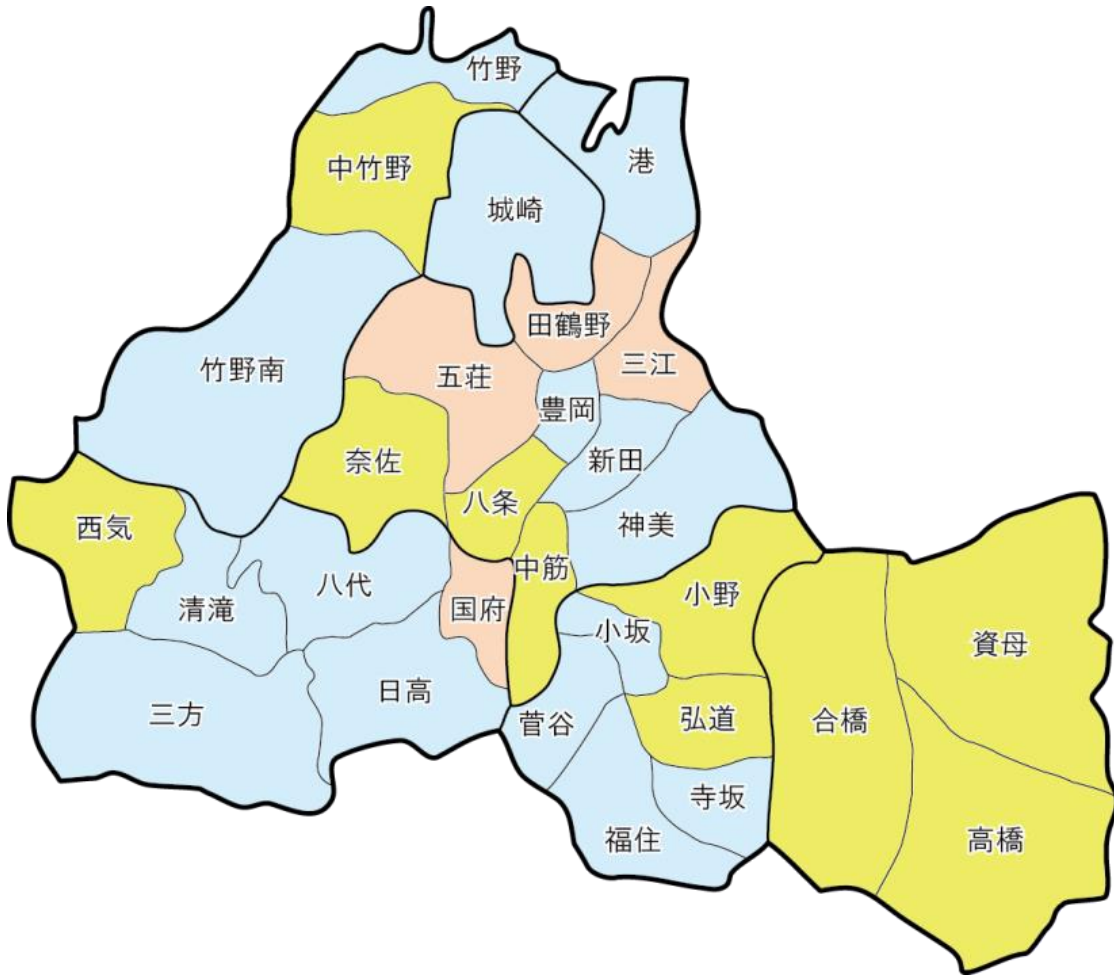
設立準備会

豊岡地区	豊岡地区コミュニティ設立準備会	2
八条地区	八条コミュニティ準備会	4
新田地区	新田地区コミュニティ(仮称)設立準備会	6
奈佐地区	奈佐地区コミュニティ組織設立準備委員会	8
港地区	港地区コミュニティ設立準備委員会	10
神美地区	神美地区コミュニティセンター(仮称)設立準備委員会	12
城崎地区	城崎地区コミュニティ設立準備委員会	14
竹野南地区	竹野南地区コミュニティ設立準備会	16
中竹野地区	中竹野地区コミュニティ準備委員会	18
竹野地区	竹野地区コミュニティ設立準備会	20
八代地区	八代地区コミュニティ検討委員会	22
日高地区	日高地区コミュニティ準備委員会	24
三方地区	地域コミュニティ三方設立準備会	26
清滝地区	清滝地区コミュニティ設立準備委員会	28
菅谷地区	菅谷地区コミュニティ設立準備会	30
福住地区	福住地区コミュニティ設立準備会	32
寺坂地区	寺坂地域コミュニティ協議会設立準備委員会	34
小坂地区	小坂地区コミュニティ協議会(仮称)設立準備会	36
小野地区	小野地区コミュニティ協議会設立検討会	38

地域コミュニティ組織

中筋地区	コミュニティなかすじ	42
西気地区	西気明日のいしずえ会	45
弘道地区	弘道コミュニティ協議会	48
資母地区	資母まちづくり協議会	51
合橋地区	合橋地域づくりの会	54
高橋地区	高橋振興対策協議会	57

【モデル地区マップ】



- 平成 26 年度モデル取組み開始地区
- 平成 27 年度モデル取組み開始地区
- 平成 28 年度モデル取組み開始予定地区

設立準備会



豊岡地区コミュニティ設立準備会



豊岡地区

地区の概況

人口	9,293 人	小学校	豊岡小学校（児童数 387 人）
世帯数	4,084 世帯	中学校	豊岡南中学校（生徒数 588 人） （豊岡北中学校区も含む）
高齢化率	35.6%	幼稚園	豊岡めぐみ幼稚園（園児数 27 人） 豊岡ひかり幼稚園（園児数 40 人）
集落数	31	保育園	豊陵保育園（園児数 137 人）
		認定こども園	なし

組織の状況

代表者名 中嶋 洋二郎

会の構成 区長会、公民館、小学校 PTA、社会福祉協議会、民生委員児童委員、有識者（計 21 名）

これまでの経過

*平成 27 年 10 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 27	9月 第1回検討会	「新しいコミュニティ」づくりについて
	第2回検討会	検討会委員の検討
	10月 第3回検討会	検討会委員の検討
	第4回検討会	設立準備会役員の検討
	11月 島根大学・作野先生との懇談会 第1回設立準備会	「新しいコミュニティ」づくりの必要性とポイント 設立準備会役員の承認、規約の承認
12月 第2回設立準備会	正式組織の姿の検討、設立総会に向けてのスケジュールの検討	
H 28	1月 第3回設立準備会	地区カルテ・H28年度公民館事業計画により現状を確認、設立準備会組織の検討
	2月 第4回設立準備会	組織、部会内容の検討
	3月 第5回設立準備会	組織、部会、今後のスケジュールの検討、ワークショップ

分野別取組み内容

地域振興	<ul style="list-style-type: none"> ①豊岡盆おどり大会 ②公民館まつり ③柳まつり・豊岡おどり・おはやし ④交通安全 だんじりパレード ⑤(仮)豊かな川づくりの会 ⑥312号線・ロータリー・新川・大磯運河等の清掃等 	地域防災 <ul style="list-style-type: none"> ①消防団・自警団による活動 ②防犯ボランティア ③夏休み防犯パトロール ④豊岡防犯協会による活動
地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> ①民生委員・福祉委員による活動 ②地区保健福祉委員による活動 ③敬老会 ④サロン活動 ⑤支え合いマップづくり ⑥住民座談会 ⑦福祉懇談会 ⑧地域探検隊（いいところ再発見） ⑨玄さん元気体操 	人づくり <ul style="list-style-type: none"> ①見て歩き ②新春かるた大会 ③ソフトバレーボール大会 ④グラウンドゴルフ大会 ⑤卓球大会 ⑥公民館学び舎講座・教室、チャレンジキッズ ⑦幼児親子活動事業 ⑧乳幼児親子交流事業 ⑨あいさつ運動 ⑩夏のラジオ体操統一実施 「ヤッホーの日（8月4日）」 ⑪学校図書ボランティア ⑫高齢者教室等公民館各種教室

コミュニティの取組み



豊岡地区は31区と市内で最も多い行政区で構成されています。市街地で人口は多いものの、高齢化率は高く、人と人とのつながりが希薄化しつつあります。

しかし、大型商業施設が立地しているほか、診療所等も複数あることから、新しい地域コミュニティの必要性について理解が進みづらい現状があります。

そこで、新しい地域コミュニティがなぜ必要かということを丁寧に説明することから始めています。平成27年11月には作野先生との懇

談会を実施し、まずは区長をはじめとする委員の間でコミュニティに対する理解を深めました。

その後の設立準備会では、規約や組織体制、構成部会などの検討を進めてきました。

今後は具体的な取組み内容の検討に移っていきますが、意見が言いやすいワークショップの手法を取り入れていきたいと考えています。また、メンバーももう少し拡大して、様々な人との話し合いの場を設けていきたいです。

豊岡盆おどり大会や、豊かな川づくりの会など、歴史を知らない人は手間なのでやめようとしたがりますが、豊岡盆おどり大会は唯一、全区で一丸となって取り組むイベントです。豊かな川づくりの会もこれまで続けてこられた方たちはこれからも続けたいという意向なので、コミュニティの環境部門に盛り込む方向で検討を進めています。とにかく人口が多い地区ですが、住民から支えてもらえるようなコミュニティを目指して、まずは隣接する区同士で協力し合うことから始めたいと考えています。



中嶋洋二郎さん
(同準備会 会長)

八条コミュニティ準備会



地区の概況

人口	5,331 人	小学校	八条小学校（児童数 382 人）
世帯数	2,156 世帯	中学校	なし（豊岡南中学校区）
高齢化率	24.1%	幼稚園	なし
集落数	9	保育園	なし
		認定こども園	八条認定こども園（園児数 212 人）

組織の状況

代表者名 佐野 守男
 会の構成 平成 26 年区長会 3 役、平成 27 年各区長、公民館、民生委員児童委員、
 八条校区子ども会育成会、スポーツクラブ 21 八条 他 （計 20 名）

これまでの経過

*平成 26 年 10 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 26	11月 第1回準備会	「地域コミュニティ・モデル地区」について説明
	2月 第1回八条地区ふれあいイベント	放課後児童クラブ、旧八条小学校お別れ会
	5月 第2回準備会	組織図案検討、準備会構成メンバー、アドバイザー迎える
H 27	7月 八条コミュニティアンケート実施	
	9月 第1回勉強会	“八条コミュニティについて考える会”
	10月 第3回準備会	アンケート結果報告、意見交換、スケジュールの詳細検討
	12月 第2回勉強会	ワークショップ
H 28	1月 第4回準備会	ワークショップ報告、八条コミュニティ規約（素案）検討
	2月 第2回八条ふれあいイベント	八条コーラス30周年ミニ記念コンサート
	3月 第5回準備会	規約案の決定、28年度のスケジュール

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①八条地区ふれあいイベント ②子ども見守り活動 ③防犯活動 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ①消防訓練 ②防災訓練 ③消防団による活動 ④自警団による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①敬老会 ②ふれあいのひととき 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①体育祭 ②ふるさとまつり ③八条リーグ ソフトボール大会 ④ソフトバレーボール大会 ⑤囲碁ボール大会 ⑥囲碁・将棋・オセロ大会 ⑦卓球大会 ⑧早起き夏休みラジオ体操 ⑨夏休みパトロール ⑩乳幼児親子サークル ⑪公民館各種教室

コミュニティの取組み



平成 26 年 10 月からモデル地区としてスタートし、区長を中心とした「幹事会」、さらに八条地区の諸団体代表を加えた「準備会」において協議を行い、組織づくりや規約なども大枠が出来上がってきました。

平成 28 年 1 月には第 2 回「八条地区ふれあいイベント」を開催し、地域づくり機運の高揚にも努めています。

八条地区の現状や住民の皆さんが感じている課題・要望などを知るための「住民アンケート」や「ワークショップ」を実施し、地域の皆さん

の意向もかなり把握できました。

28 年度は「はじめの第一歩計画」を策定し、規約などと共に地域の皆さんに提案します。このためには単に「だより」だけでなく、各区に出かけていき進行状況を直接説明することも必要だと考えています。

「八条のことは八条で」を基本に、「安全・安心に暮らせる八条」、「明るく元気に暮らせる八条」、「人と人のふれあい豊かな八条」を目指し、「公民館」から「八条コミュニティ」へ円滑に移行するよう進めていきたいと思っています。

取組みが始まったばかりで、「なぜこんなことを？」という人もいます。そのたびに、「せなあかんのやあ〜！」と言って盛り立てています。また、公民館がコミュニティセンターに移行することで、今までのように公民館に足を運べなくなるのではないかといった不安の声も聞かれます。そのため、説明文書を作ったり、公民館だよりに記事を書かせたりして広報に力を入れています。

公民館の取組みをコミュニティに移行させていく中で、「明るく元気」、「安全・安心」、「世代間交流が盛ん」な地区を目指します。



佐野守男さん
(同準備会 会長)

新田地区コミュニティ（仮称）設立準備会



地区の概況

人口	3,435 人	小学校	新田小学校（児童数 193 人）
世帯数	1,303 世帯	中学校	なし（豊岡南中学校区）
高齢化率	25.4%	幼稚園	新田幼稚園（園児数 24 人）
集落数	8	保育園	アートチャイルドケア豊岡こうのとり保育園（園児数 149 人）
		認定こども園	なし

組織の状況

代表者名	堀名 喜郎
会の構成	平成 27 年区長会 3 役、平成 28 年各区長、公民館、高年クラブ、農会長会、消防団、民生委員児童委員、幼小 PTA、育成会、六方川を考える会、スポーツクラブ 21、公民館女性部（計 22 名）

これまでの経過

*平成 27 年 10 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 27	10月 第 1 回検討会 第 2 回検討会	設立準備会委員の検討 第 1 回設立準備会の打合せ
	11月 第 1 回設立準備会	説明「新しい地域コミュニティについて」、規約の承認、役員選出
	12月 第 2 回設立準備会 第 3 回設立準備会	アドバイザーによる講演 行政区・団体の行事集約、意見交換
H 28	2月 第 4 回設立準備会	委員によるプチワークショップ
	3月 第 5 回設立準備会	地区住民参加のワークショップ

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①六方川探検隊 ②六方川桜並木の草刈り・整備 ③子どもの見守り活動 ④防犯活動 ⑤コミュニティ新聞発行 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ①ふれあいマップ作成 ②救急法講習会 ③防火・防災訓練 ④消防団による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①敬老会 ②ふれあいサロン ③ふれあいマップ作成 ④高齢者と新田小学校子ども福祉委員交流会 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①文化祭 ②運動会 ③ソフトボール大会 ④グラウンドゴルフ大会 ⑤みひらき健康マラソン大会 ⑥新田地区みんなでラジオ体操 ⑦囲碁大会 ⑧ちびっこクラブ ⑨幼児教育学級 ⑩高齢者教室 ⑪公民館各種教室

コミュニティの取組み



平成 27 年 10 月からモデル地区としての取組みを始めました。11 月に設立準備会を立ち上げ、これまでに 5 回の会議を開催しました。

コミュニティ新聞を発行したり、コミュニティの Facebook ページを作ったりして、住民への広報にも力を入れています。

そのような中、区長さんから集落でもワークショップをしたいという要望があり、少しずつでも関心を持ってもらっていると実感しています。

コミュニティの進め方はまだ分

からないことが多く、アドバイザーに適宜アドバイスをもらいながら進めています。

また、当初は、区長さんは数名しか委員に入れていませんでしたが、委員の皆さんからのご意見があり、全ての区長さんに委員になってもらうことにしました。

ただ、女性の委員がとても少ないので、女性にもっと参加してもらえるように工夫していきたいと思っています。

高齢者が元気で、高齢者教室には約 180 人が登録されています。鳥取などへ研修旅行に出かけたり、年 2 回の奉仕作業をされたり、運動会をされたりと、精力的に活動されています。一旦は高齢者教室がなくなった地区も、また復活したりしています。ただ、交通手段がなく、教室に顔を出せない高齢者がおられることも事実です。そのような高齢者も元気に過ごせるような支援ができればと思っています。また、コウノトリを中心に据えた環境保全にも力を入れていきたいです。



堀名喜郎さん
(同準備会 会長)

奈佐地区コミュニティ組織設立準備委員会



地区の概況

人口	1,165人	小学校	奈佐小学校（児童数 66人）
世帯数	382世帯	中学校	なし（豊岡北中学校区）
高齢化率	37.1%	幼稚園	なし
集落数	12	保育園	なし
		認定こども園	なし

組織の状況

代表者名	岡谷 邦人
会の構成	区長会、公民館、長寿会、奈佐小PTA・スポ少、育成会、消防団、スポーツクラブ 21、農会長会、健康をすすめる会（計 21名）

これまでの経過

*平成 26 年 10 月モデル開始

	これまでの取り組み	主な内容
H 26	10月 第1回設立準備委員会	出前講座、今後の進め方
	11月 第2回設立準備委員会	地区の良いところ、課題の整理
	1月 第3回設立準備委員会	課題解決に向けたアイデアの整理
H 27	4月 観桜の会 第4回設立準備委員会	地域コミュニティづくりの推進及び親睦 組織構成、部会構成の検討
	7月 第5回設立準備委員会	部会構成に向けてのワークショップ（1回目）
	10月 第6回設立準備委員会	部会構成に向けてのワークショップ（2回目）
	11月 先進地視察研修	海上区・うみがみ元気村（新温泉町）
H 28	2月 第7回設立準備委員会	組織体制とスローガンの検討
	3月 第8回設立準備委員会	組織の名称決定、はじめの第一歩計画の検討

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①奈佐森林公園まつり ②子どもの登下校安全見守り活動 ③防犯活動 ④観桜の会 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①消防訓練 ②防火・防災訓練 ③消防団による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①敬老会 ②長寿会一泊研修 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①文化祭 ②小学校公民館合同運動会 ③三世代交流そば打ち大会 ④ソフトボール大会 ⑤バレーボール大会 ⑥At.奈佐ウォークラリー大会 ⑦夏休みラジオ体操 ⑧奈佐節継承 ⑨乳幼児親子サークル ⑩幼児教育学級 ⑪公民館各種教室

コミュニティの取組み



奈佐地区の準備委員会は、毎回、委員に宿題を提示しているのが特徴です。準備委員会の半月後までに提出してもらい、それを半月でとりまとめて次の準備委員会に臨んでいます。皆さん、それぞれに検討して提出されるので助かっています。

しかし、いつも座って会議しているばかりで楽しくない！という意見もあり、楽しく桜を愛でる「観桜の会」が発案されました。

当日はコントラバスと箏とキーボードとがコラボしたコンサートやサルサダンス、住職による揮毫

(きごう)などを行いました。また、しし鍋汁を無料でふるまったほか、区単位でたこ焼きや焼きそばなどの出店もありました。

懐かしい人との再会や新しい人との出会いの場となり、新たなコミュニティの絆が生まれました。田畑が忙しくなる時期を前に住民に元気を与えられたのではないかと思います。

今回は広報回数が少なかったため、次回開催する際には早めの広報と回数を増やし、より多くの人に来場してもらえようと思います。

奈佐地区の人口は減少する一方で、伝統ある祭りの運営に支障が出始めていました。そこで、昨年度私の区では祭りのあり方検討会を開催して、作業等の取捨選択を行いました。また、草刈りなどの日役の人手も足りなくなってきたため、今年度からは制度を変え、1世帯2人以上出席した場合はその世帯に賃金を支払うことにしました。少子高齢化に柔軟に対応をしながら、住民同士の繋がりを大切にしていきたいと考えます。



岡谷邦人さん
(同準備委員会 会長)

港地区コミュニティ設立準備委員会



地区の概況

人口	2,873 人	小学校	港東小学校（児童数 60 人） 港西小学校（児童数 50 人）
世帯数	1,066 世帯	中学校	港中学校（生徒数 79 人）
高齢化率	36.5%	幼稚園	なし
集落数	7	保育園	なし
		こども園	港認定こども園（園児数 50 人）

組織の状況

代表者名	尾崎 定幸
会の構成	区長会、分館長、高年クラブ、学校長、PTA、育成会、民生委員児童委員、公民館役員、市議会議員、公民館（計 19 名）

これまでの経過

*平成 27 年 4 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 27	3月 検討委員会	設立準備準備委員の選出、準備委員会の日程決定
	4月 第1回設立準備委員会	設立準備委員会の規約の承認、役員を選任
	6月 第2回設立準備委員会	愛称決定、予算案の承認
	9月 第3回設立準備委員会	組織の検討、スケジュールの検討
H 28	11月 第4回設立準備委員会	設立総会の日程決定、組織の検討、スケジュールの検討
	2月 第5回設立準備委員会	部会名の決定、ワークショップ・地区説明会・委員の検討
	3月 出前講座、防災・防犯部会ワークショップ	地域の状況及び問題点の検討

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①子ども見守り活動 ②あいさつ運動 ③夜間パトロール ④浜清掃（気比の浜・田結の浜） ⑤カニまつり ⑥わかめまつり ⑦絹巻神社奉納相撲大会 ⑧機関紙の発行 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自主防災訓練 ②大津波訓練 ③春・秋の火災予防運動 ④消防団による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①敬老会 ②いきいきサロン ③玄さん体操 ④健康講座 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①港西大運動会 ②港東地区体育祭 ③文化祭 ④乳幼児サークル ⑤幼児教育学級 ⑥公民館各種教室

コミュニティの取組み



平成 27 年 4 月からモデル地区として取組みを始めました。これまでに準備委員会を 5 回開催し、早速、コミュニティの愛称を、“港地区の明るい未来は、みんなの手で”という意味が込められた「みなと未来の会」に決定しました。愛称を早めに決めることで、住民の皆さんがコミュニティにより興味を持ってもらえると思ったからです。

実際に、興味を持たれた住民の方から、「公民館の看板をコミュニティセンターに付け替えるだけじゃないのか？」と聞かれたりすること

もありますが、少子高齢化など、地区の実態に応じて中身も変えていくということを説明すると、「それはいいね！」と言ってくれます。

部会も決まりつつあり、3 月からはワークショップを通して部会の具体的な内容を検討していきます。

公民館活動がとても充実していて、住民同士の結束力も強いので、コミュニティへの移行にはあまり不安がありません。コミュニティの部会も公民館活動をベースにしたものを想定しています。ただし、福祉と防災については新たに追加することを考えていますが、これらは問題が多面的で、何か一つを解決すればそれでいいというものではないので、コミュニティでどこまでやれるのかをこれからしっかり検討していきます。



尾崎定幸さん
(同準備委員会 会長)

神美地区コミュニティセンター（仮称）設立準備委員会



地区の概況

人口	2,167人	小学校	神美小学校（児童数 125人）
世帯数	723世帯	中学校	なし（豊岡南中学校区）
高齢化率	27.2%	幼稚園	神美幼稚園（園児数 28人）
集落数	10	保育園	なし
		認定こども園	なし

組織の状況

代表者名 加谷 定

会の構成 区長会、農会長会、長寿会、神美（幼）PTA、スポーツ 21、スポーツ少年団、防犯協会、交通安全協会、消防団第 11 分団、民生委員児童委員、公民館（計 24 名）

これまでの経過

*平成 27 年 4 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 26	8月 コミュニティ研修会	地区住民を対象とした研修会（区長会主催）
	12月 モデル地区実施に向けた調整会議	準備の進め方を検討
H 27	2月 コミュニティ研修会	区長会及び地区内団体長対象の研修会
	3月 公民館役員説明会	公民館総会にて地域コミュニティを説明
	4月 設立準備委員会設置	4/1 規約制定
	第1回準備委員会	規約及び委員、役員の承認
	7月 第2回準備委員会	地区カルテの作成（現状と課題等）
	10月 防災集会開催	地区、学校、民生委員等総合防災訓練
H 28	ふれあい座談会	住民自由参加によるグループワーク
	12月 第3回準備委員会	委員会の経過確認と組織づくりを検討
	2月 第4回準備委員会	コミュニティの名称・組織の骨格・構成の決定
	3月 先進地視察研修	あば村運営協議会（岡山県津山市）

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①登校児童の見守り、あいさつ運動 ②青少年健全育成活動（卓球大会、ラジオ体操等） ③三開山の山道整備 ④各種団体長の懇親会 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ①神美地域防災集会 ②消防団第11分団による活動 ③防犯協会神美支部による活動 ④防災行政無線による非常時放送
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①神美長寿会の活動・事業 ②民生委員児童委員による相談、支援、見守り活動 ③公民館における月イチふれあい喫茶 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①神美地区運動会 ②ソフトボール大会、バレーボール大会 ③グラウンドゴルフ大会（長寿会、児童、住民） ④文化祭 ⑤幼児教育学級 ⑥公民館各種教室

コミュニティの取組み



地域住民や小学生、PTA、民生委員児童委員、長寿会、防災士会などと連携し、地域防災集会を実施しました。なんと、約230人が参加されました。

集会では防災士会に講演してもらったほか、図上訓練、避難訓練、炊き出し訓練を行いました。

防災の意識が高まっていることが感じられ、自主防災組織と消防団をうまく連携させることが今後のコミュニティの課題だということも分かってきました。

炊き出しは小学校が育てたお米

の収穫祭も兼ねることで、異世代交流を図ることもできました。

また、意欲的な人を発掘しようと「ふれあい座談会」を開催しました。PTAなどに声をかけて、若者や女性を中心に集ってもらい、区内の良い点・悪い点、将来性や方向性を話し合いました。

新しい地域コミュニティに取り組むことで、長年慣れ親しんできた公民館が変わってしまうという意識を持たれる方が多いようです。神美地区では、高齢者の皆さんを中心に、区ごとに持ち回りで公民館の清掃をしていただくなど、とても愛着を持たれています。このような方々のためにも、試行錯誤しながらではありますが、しっかりと組織をつくっていきたいと思います。



加谷 定さん
(同準備委員会 会長)

城崎地区コミュニティ設立準備委員会



地区の概況

人口	3,519人	小学校	城崎小学校（児童数 135人）
世帯数	1,537世帯	中学校	城崎中学校（生徒数 81人）
高齢化率	37.5%	幼稚園	なし
集落数	31	保育園	なし
		こども園	城崎こども園（園児数 147人）

組織の状況

代表者名 宮下 隆司

会の構成 町内会長会、公民館、城崎こども園、城崎小学校愛育会、城崎中学校PTA、消防団、体育協会、文化協会、老人クラブ連合会、スポーツクラブ21、農会長会、観光協会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、公募・会長推薦（計29名）

これまでの経過

*平成27年4月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 26	10月 町内会長会 各部別説明会	各部の検討委員選出
	11月 コミュニティ検討会（3月まで5回開催）	モデル地区の考え方、準備委員会・支援員の候補
H 27	4月 設立準備委員会設置準備	規約、予算（案）協議
	5月 設立準備委員会委員の選出 各町内訪問説明会開始	
	6月 第1回設立準備委員会	委員会の規約、役員の決定、事業計画について
	7月 第2回設立準備委員会	意見交換、グループ協議
	8月 城崎ふるさと祭りでコミュニティPR活動	内川地区の果物・農産物・もろこなど販売促進
	9月 第3回設立準備委員会	健康ポイント制度の説明
	10月 第4回設立準備委員会	アドバイザーより地域づくりの進め方
	11月 城崎中学校訪問説明会 第5回設立準備委員会	小中学生へのミニ講座と意見交換 城崎の資源×課題 解決のアイデア出し
	12月 健康ポイントの独自チラシ作成配布 第6回設立準備委員会	協力：市健康増進課 課題解決のワークショップ
	1月 第7回設立準備委員会	女性視点、町内を超えた連携実習、委員交流会
H 28	2月 第8回設立準備委員会	活動報告とこれからの展開
	3月 城崎地域コミュニティのあり方研修 第9回設立準備委員会	主に新加入委員と振興局職員対象 組織構成などテーマ別協議

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①機関紙「KINO コミュ通信」発行 ②防犯パトロール ③あいさつ立ち番 ④歴史探訪の旅 ⑤城崎見てあるき ⑥プロジェクトC ⑦ふるさと祭りにて特産品PR活動 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ①1月3日城崎大火についての消防団の説明今後の対策 ②自主防災組織の拡充 ③見守り隊
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①福祉祭りへの参加 ②城崎楽々むらまつり参加 ③健康・環境ポイント制度の取り組み 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①城崎地域運動会 ②バレーボール大会 ③野球大会 ④グラウンドゴルフ大会 ⑤城崎文化のつどい ⑥顔見知りラジオ体操 ⑦城崎中学校へコミュニティ訪問説明会 ⑧公民館各種教室

コミュニティの取組み



まずはコミュニティの活動を住民の皆さんに知ってもらうことが大切だと考え、31町内会を対象としたコミュニティの訪問説明会や、小中学生対象の出前講座を開催しました。

また、機関紙「KINO コミュ通信」を2か月ごとに発行し、城崎地区全戸に配布しています。これまでに発行したものは、人口減少を伝える図表やワークショップの結果、市主催のコミュニティに関する講演会の概要などをお知らせしています。人物取材コーナーでは、読みやすさを

識して、インタビュー形式で記載しています。ぜひ、ご覧ください。

事務局内では、情報共有シートでそれぞれの考えや個別活動の「見える化」を図りました。考え方に多少の違いがあっても、大筋の方向性がそろっていれば構わないというスタンスで理解を深めています。さらにコミュニティ準備会長と城崎振興局の担当課長は、ほぼ週1回のペースで意見交換を重ねています。

各区に説明に回っていますが、「なぜ新しい地域コミュニティが必要なのか？」という声が多く聞かれます。年々人口が減り、市職員が減り、福祉や社会保障にお金がかかる…。「役場依存」から脱却し、「自分たちのことは自分たちで」何とかしなくてはなりません。0を1にするのは大変で、まるで井戸を掘るかのようです。これからもコミュニティと城崎振興局がお互いにしっかりと連携して進めていきたいと考えています。



宮下隆司さん
(同準備委員会 会長)

竹野南地区コミュニティ設立準備会



地区の概況

人口	1,091人	小学校	竹野南小学校（児童数 22人）
世帯数	392世帯	中学校	なし（竹野中学校区）
高齢化率	38.2%	幼稚園	なし
集落数	17	保育園	森本へき地保育園（園児数 8人）
		認定こども園	なし

組織の状況

代表者名	岡田 隆男
会の構成	区長協議会役員、公民館運営委員会、消防団副団長・分団長、社会福祉協議会、農林業関係者、公民館（計 34名）

これまでの経過

*平成 27 年 7 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 27	5月 第1回検討委員会	検討委員会の目的・設立準備会設置計画
	6月 第2回検討委員会	設立準備会のメンバー・規約について
	6月 第3回検討委員会	区長協議会への提案内容について、準備会委員への依頼について
	7月 第4回検討委員会	区長協議会の協議結果について、設立準備会の開催日程について
	7月 第1回設立準備会	設立準備会規約の承認・役員の選出、平成27年度事業計画・予算、今後のスケジュールについて
	10月 第1回ワークショップ（第2回設立準備会）	地区の良いところ・課題の洗い出し
H 28	11月 まち・むら探検	地区内探検、報告会
	12月 第3回設立準備会	ワークショップ、まち・むら探検の実施状況について
	12月 鍋を囲んで年末大放談会	竹野南地区のコミュニティづくりについて
	2月 第2回ワークショップ	地区の良さを生かし、課題を解決するための具体策を考える
	3月 第4回設立準備会	平成28年度事業計画・予算、組織・計画づくりのスケジュールについて
	3月 先進地視察研修 第3回ワークショップ	そば処春来てっぺん（新温泉町） 地域づくりプロジェクトについて考えよう

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①変装踊り ②狗留尊佛祭り ③三原谷の川の風まつり ④設立準備会だよりの発行 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ①消防団による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①竹野南地区敬老会 ②イナカーウォーキング 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①森本保育園・竹野南小学校・竹野南地区合同運動会 ②竹野南地区文化祭 ③公民館各種教室

コミュニティの取組み



住民に地元への興味を持ってもらおうと、平成 27 年にまちむら探検を開催しました。50 人の方が参加され、「楽しかった。次回は他の区にも行ってみたい。」と楽しんでもらえたようです。また、「観光のために整備すべき」という箇所がいくつも挙げられました。このことから、ゆくゆくは遊びマップや観光マップといった資源マップをつくりたいと考えています。

さらに、この取組みを通して、地域資源だけでなく災害の歴史なども次世代に受け継ぐような語り部

の育成も目指しています。昔、山で焼畑をしていたころは山火事への備えができていて、消防団は山へ、婦人たちは炊き出しをするというのが当たり前でした。こうした生活の知恵も高齢者から次世代へ引き継いでいきたいと考えています。

竹野南地区は細長い谷が 2 つあり、集落同士が遠く、孤独な思いをされているお年寄りもおられます。そのような中で、イナカーが重要な交通手段となっているため、廃線にならないように守っていく必要があると感じています。また、お年寄りの話を聞く会を開催してみたいと思っています。実は、子ども含め、私たち若い世代がお年寄りの話を聞く機会が少ないように感じています。生き抜く知恵や技術を学んで後世に受け継いでいきたいです。



岡田隆男さん
(同準備会 会長)

中竹野地区コミュニティ準備委員会



中竹野地区

地区の概況

人口	680人	小学校	中竹野小学校（児童数 31人）
世帯数	228世帯	中学校	なし（竹野中学校区）
高齢化率	35.8%	幼稚園	なし
集落数	9	保育園	なし
		こども園	竹野認定こども園（園児数 77人）

組織の状況

代表者名	木瀬 堯后
会の構成	区長、前区長、公民館、公民館協力委員、市議会議員、農会代表、女性の会代表、消防団（計 32名）

これまでの経過

*平成 26 年 4 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 26	5月 第1回準備委員会	地域コミュニティの必要性、役員選出、組織名称協議
	6月 第2回準備委員会	アドバイザー紹介、アドバイザーによる今後の取組み説明
	7月 出前講座&ワークショップ	中竹野の良いところ、悪いところ
	8月 第3回準備委員会	ワークショップ結果の分析、先進地視察協議
	9月 第4回準備委員会	まちむら探検協議
	9月 第5回準備委員会	作野先生との意見交換会
	10月 第6回準備委員会	まちむら探検協議、準備委員会規約協議
H 27	11月 第7回準備委員会	まちむら探検打合せ、準備委員会の進め方協議
	11月 まちむら探検	地区内探検、ワークショップ、報告会
	2月 第8回準備委員会	委員（区長）交代に伴う経過説明と意見交換
	3月 第9回準備委員会	まちむら探検の取組みとその活用方法
	4月 第10回準備委員会&ワークショップ	お宝の活用方法と課題の具体化
	5月 第11回準備委員会	前回ワークショップの検討
	5月 先進地視察研修	与布土地域（朝来市）、神河町空き家再生事例
	6月 第12回準備委員会	地域づくり構想のスケジュール
	7月 第13回準備委員会	次回ワークショップの検討
	8月 第14回準備委員会	こんにやく試食会（委員向け）
	9月 第15回準備委員会&ワークショップ	地域づくりプロジェクト検討
	10月 第16回準備委員会	地域づくり構想スケジュール
	11月 第17回準備委員会&ワークショップ	プロジェクトの絞り込み、具体化
12月 第18回準備委員会	地域づくり構想協議	
H 28	1月 第19回準備委員会&ワークショップ	地域づくり構想たたき台について検討
	2月 第20回準備委員会	次回ワークショップの検討
	3月 第21回準備委員会&ワークショップ	地域づくり構想仕上げ

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①河川愛護活動 ②ジャンボ巻きずし大会 ③子どもの見守り活動 ④まちむら探検 ⑤準備委員会だよりの発行 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①消防団による活動 ②自主防災組織による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①敬老会 ②サロン活動 ③ふれあい喫茶 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①中地区総合体育大会 ②文化祭 ③三世代交流グラウンドゴルフ大会 ④早起きラジオ体操 ⑤子ども 110 番の家の整備 ⑥定期パトロール ⑦公民館各種教室

コミュニティの取組み



モデル地区の取組みをどのように進めていけばよいのか悩んでいたところ、「まずは地域の皆さんが中竹野地区のことをどのように思っているか意見を聞いてみては？」というアドバイザーの勧めもあり、ワークショップを開催しました。ワークショップでは 49 人の参加者が中竹野地区の「良いところ」と「改善が必要なところ」について意見を出し合い、発表することで参加者が相互に想いを共有し、最初の一步を踏み出すことができたと感じました。

また、ワークショップで出された意見について、実際に目で見て、肌で感じてもらうために「まちむら探検」を実施しました。小学生からお年寄りまで 36 人が参加し、6 班に分かれて地区内を探検しました。

探検後は班ごとに結果を地図にまとめ、撮った写真をスクリーンに映しながら見てきた内容を発表しました。地区の名所やお宝などを住民で再発見する良い機会となりました。今後は、この結果を地域づくりにどう生かしていくかを検討していきます。

昭和 52 年に「中地区コミュニティ連絡協議会」が発足し活動してきましたが、組織ができた 40 年前とは地区の状況も変化しており、「組織運営や地区のあり方を見直すチャンス」だと思いモデル地区の取組みを進めてきました。準備委員会では、「農産物加工所の後継者不足を何とかしたい」という意見があがり、こんにやくづくりの後継者育成とともに、地域ぐるみでの新たな活動へと繋がろうとしています。人と人の繋がりを考えていくことが地区のあるべき姿。「遊び心」や「楽しみ」を大切に、焦らず、気長に輪を広げて、活動をしていきます。



木瀬堯后さん
(同準備委員会 委員長)

竹野地区コミュニティ設立準備会



竹野地区

地区の概況

人口	2,872 人	小学校	竹野小学校（児童数 117 人）
世帯数	1,050 世帯	中学校	竹野中学校（生徒数 121 人）
高齢化率	35.0%	幼稚園	なし
集落数	17	保育園	なし
		認定こども園	なし

組織の状況

代表者名	加藤 正晴
会の構成	竹野地区公民館運営役員（区長協議会、竹野浜自治会、老人クラブ、小・中学校長、学識経験者）、公民館（計 11 名）

これまでの経過

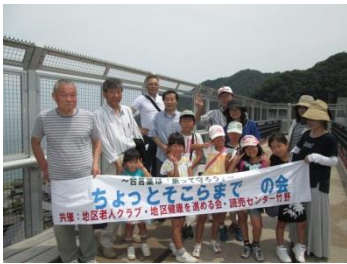
*平成 27 年 4 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 27	2月 第1回検討会	モデル地区取組協議（公民館・振興局）
	4月 研修会	区長対象に「むらづくり」について研修
	4月 研修・ワークショップ	地域づくりについて
	7月 第2回検討会	地域コミュニティ概要、空き家調査等
	8月 第1回区長協議会	空き家調査、区の現状・課題洗い出し
H 28	9月 意見交換会	女性団体、地域プロデューサー等による意見交換会
	11月 第2回区長協議会	空き家調査、区の現状・課題結果報告
	2月 第1回設立準備会	組織立ち上げ
	2月 第2回設立準備会	取組内容について検討
	3月 第3回設立準備会	協働団体選定、担当委員決定

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①公共交通利用促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・イナカー乗車事業活動 ・JR乗車事業活動 ②子どもの見守り活動 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ①消防団による活動 ②自主防災組織による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①竹野学園（高齢者学級） ②敬老会 ③サロン活動 ④健康体操教室 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①竹野地区体育まつり ②竹野地区文化まつり ③乳幼児教育学級 「竹野ヨチヨチランド」 「竹野元気っ子ランド」 ④公民館各種教室

コミュニティの取組み



平成 27 年 2 月から新しい地域コミュニティの検討を進め、1 年後の平成 28 年 2 月に設立準備会が立ち上がりました。

この間も、地区の課題ということで空き家調査を行いました。すると、128 軒も空き家があることが分かりました。そのうち 120 軒は倒壊の危険はないようですが、所有者の意向が不明なものや、盆・正月に使うという所有者も多く、空き家を活用した地区の賑わいの創出には課題が多いようです。

また、地区内に女性活動団体が多

いという特徴があることから、女性団体の代表者数名ずつで集まって意見交換会を行いました。この意見交換会の結果から、団体の活動費がないということが明らかになりました。そこで、活動費を確保するためのバザーを開催することが決まり、実際にバザーを行いました。

このように、まずは見えている課題を 1 つずつ検討しながらコミュニティの活動を進めています。

1 年間、コミュニティとして活動を進めてきて、コミュニティに対する理解は進んできました。一方で、慌ててコミュニティを進める必要はないのでは？という声も多く聞かれたため、他地区の事例を参考にしながらじっくりと進めていくようにしています。

竹野地区の住民は、課題を自分事として捉えることができると、それに対して一生懸命取り組みます。したがって、課題認識をもう少し明確になるまで、慌てず丁寧に進めていこうと思います。



加藤正晴さん
(同準備会 会長)

八代地区コミュニティ検討委員会



地区の概況

人口	744人	小学校	八代小学校（児童数43人）
世帯数	237世帯	中学校	なし（日高東中学校区）
高齢化率	35.1%	幼稚園	なし
集落数	9	保育園	八代保育園（園児数67人）
		認定こども園	なし

組織の状況

代表者名 赤坂 健司
 会の構成 区長会、公民館（計11名）

これまでの経過

*平成27年10月モデル開始

		これまでの取組み	主な内容
H 27	5月	第1回検討委員会	モデル地区の取組みを開始時期の検討
	6月	第2回検討委員会	モデル地区開始10月に向けての計画
	7月	第3回検討委員会	区まわり説明会について
	9月	第4回検討委員会	区まわり説明会日程調整と名称について
		第5回検討委員会	区まわり説明会実施計画次第と名称募集について
	10月	区まわり説明会	河江区、小河江区、大岡区、藤井区
		区まわり説明会	八代区、谷区、奈佐路区、中区、猪爪区
	11月	先進地視察研修	与布土自治会（朝来市）
		第6回検討委員会	区まわり説明会のまとめ反省会
	12月	コミュニティ名称募集	
H 28	1月	第7回検討委員会	座談会についてアドバイザーとの打合せ
	2月	第1回座談会	八代の未来を考える座談会
		第8回検討委員会	名称の決め方について
	3月	第2回座談会	八代の未来を考える座談会、コミュニティ名称決定
		旧井東診療所の歴史とコミュニティ	旧井東診療所の歴史について講演と茶話会
		コミュニティ名称公表	
		第9回検討委員会	第3回座談会について
	第10回検討委員会	第3回座談会と組織について	

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①三世代ふれあい夏まつり ②やしろオクラ ③か行庵 ④100円喫茶（仮称） 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①普通救命講習会 ②消防避難訓練 ③消防団による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①一人暮らしの集い ②サロン活動 ③敬老会 ④防犯活動 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①運動会 ②グラウンドゴルフ大会 ③ゴルフ大会 ④作品展 ⑤一斉ラジオ体操 ⑥八代っ子自然ひろば ⑦乳幼児学級 ⑧放課後子ども教室 ⑨公民館各種教室

コミュニティの取組み



当初は平成 28 年 4 月からモデル地区として活動を始める予定だったが、開始時期を早めて、平成 27 年 10 月から取組みを始めました。「どうせやるなら早めに始めたほうが良い」という思いが区長同士で共通していたためです。

それから各区で説明会を行いました。「なぜやらないといけないのか」「仕事を増やすな」と言われる方もありましたが、コミュニティの必要性を丁寧に説明して回りました。公民館だよりでもコミュニティの欄を作って少しずつ広報してい

います。

2 月には座談会を開催し、八代地区の魅力や課題を自由に出してもらいました。とても和やかで良い雰囲気でしたが、若い人の参加が少なかったのも、若い人が出てきやすい場をどう提供するかが今後の課題です。

3 月からは毎週木曜日に 100 円喫茶（仮称）を開催しています。公民館の交流ひろばを活用して、一日中楽しく活動しています。

八代地区の強みは車があればとても住みやすいことです。また、保育園が人気で、他地区から通っている子どもも多いと聞きます。そういう子どもの親が八代の良さに気付いて、移住してくれると嬉しいです。

また、旧診療所の建物を「か行庵」と命名して、200 円でコーヒーが飲めるなど、サロンのような使い方をしています。高齢者をはじめ、たくさんの人のふれあいの場にしたいです。困っていることに頭を悩ますより、目標に向かって前向きに取り組んでいきたいと思っています。



赤坂健司さん
（同検討委員会 委員長）

日高地区コミュニティ準備委員会



地区の概況

人口	7,933 人	小学校	日高小学校（児童数 462 人） 静修小学校（児童数 45 人）
世帯数	3,007 世帯	中学校	日高東中学校（生徒数 346 人）
高齢化率	27.7%	幼稚園	日高幼稚園（園児数 35 人）
集落数	18	保育園	蓼川保育園（園児数 162 人）、蓼川第二保育園 （園児数 89 人）、静修保育園（園児数 57 人）
		認定こども園	なし

組織の状況

代表者名	井上 薫
会の構成	区長会、公民館、青少年部長、日高消防団、日高小幼PTA、民生委員児童委員、 商工会日高支所、社会教育委員、市議会議員（顧問）等（計 19 名）

これまでの経過

*平成 27 年 4 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 27	4月 日高地区区長会	新しい地域コミュニティの説明、検討委員会メンバーの承認
	第1回コミュニティ検討委員会	日高地区の状況報告等、検討委員会の役員選出
	第2回コミュニティ検討委員会	準備委員会構成団体の検討、住民周知について
	6月 第3回コミュニティ検討委員会	「新しい地域コミュニティ組織」と「まちづくり・地域づくり」の検討
	7月 第4回コミュニティ検討委員会	「新しい日高地区をつくろう会」について、団体等への参加依頼
	8月 第1回新しい日高地区をつくろう会	「新しいコミュニティ」説明、ワークショップ「お宝と課題」
	第5回コミュニティ検討委員会	ワークショップのまとめ
	9月 第6回コミュニティ検討委員会	拡大検討委員会、準備委員会の人選と規約（案）作成
	第7回コミュニティ検討委員会	福祉の取り組みについて
	第8回コミュニティ検討委員会	第2回「新しい日高地区をつくろう会」の開催について
10月 第2回新しい日高地区をつくろう会	「新しい日高地区コミュニティ」講演会、準備委員会の設立・今後のスケジュールについて、ワークショップまとめ発表、意見交換	
11月 第9回コミュニティ検討委員会	第1回準備委員会の開催日程、就任依頼	
12月 第1回コミュニティ準備委員会	経過報告と準備委員の役割、規約の制定、役員の承認	
H 28	1月 第2回コミュニティ準備委員会	ワークショップ「どんな町に暮らしたいか」
	2月 第3回コミュニティ準備委員会	新コミュニティに向けてすべきこと、12月までのスケジュール
	3月 第4回コミュニティ準備委員会	ワークショップ「まちづくりの目標と課題」
	第5回コミュニティ準備委員会	「まちづくりの課題」の現状把握

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①日高夏祭り ②子供奉納相撲 ③準備委員会だよりの発行 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①普通救命講習 ②消防訓練・防災学習 ③消防団による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①人権講演会 ②敬老会 ③サロン活動 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①グラウンドゴルフ大会 ②異世代交流行事 ③ソフトバレーボール大会 ④年少リーダー研修会 ⑤キックベースボール大会 ⑥町民体育祭 ⑦ちびっこカーニバル ⑧日高のタベ（文化祭） ⑨陶芸教室 ⑩区長会長杯「大縄とび大会」 ⑪女性学級 ⑫りんごクラブ（乳幼児サークル） ⑬日高老人学園 ⑭お父さん料理教室 ⑮夏休み冬休み子ども事業 ⑯歴史探訪教室 ⑰公民館各種教室

コミュニティの取組み



平成 27 年 4 月にモデル地区としてスタートしました。最初は区長 6 人と公民館長、それに支援員、主事も加えて 9 人からなる検討委員会を立ち上げました。以後、12 月 14 日に準備委員会を発足させるまで、“行きつ戻りつ”しながら 9 回にわたり検討委員会で侃々諤々（けんけんがくがく）。またこの間、8 月と 10 月には関係者約 70 人に呼びかけて「新しい日高地区をつくろう会」を開催し、より多くの人々にコミュニティづくりへの理解と協力を求めるとともに、地区の課題やお宝さ

がしのワークショップも行いました。

12 月には、検討委員 9 人に加え 10 人を新たにお願ひし、19 人からなる準備委員会を発足しました。準備委員会ではまず、平成 28 年末には日高地区新組織をスタートさせるという目標を掲げました。そして、それに向けてのスケジュールをつくり、今後すべきことを共通認識し、現在は目標設定とその課題の抽出などに取り組んでいるところで

スタートして間もなく一年が過ぎようとしています。事前に区長会で再三話し合い、公民館との連携に配慮しつつ、検討委員会そして準備委員会設立と進めて来ました。日高地区は、他地区に比べ高齢化率も低く便利度も高いのですが、中心市街地の数区が軒並み準限界集落目前で独居世帯や高齢世帯が多くなっている、という現実には驚かされます。したがって、具体的に何からどう始めればいいのか、なかなか話が進みませんが、「コミュニティづくりに『失敗は無い、答えは無い、不可能は無い』のだからまあ焦らず腰を据えて」とお互いに励まし合いながら、出された意見を大切にしつつ、気楽な委員会運営に心がけています。



井上 薫さん
(同準備委員会 会長)

地域コミュニティ三方設立準備会



地区の概況

人口	2,718人	小学校	三方小学校（児童数 120人）
世帯数	942世帯	中学校	日高西中学校（生徒数 114人）
高齢化率	36.0%	幼稚園	なし
集落数	16	保育園	なし
		こども園	みかたの森こども園（園児数 86人）

組織の状況

代表者名 小谷 俊英
 会の構成 平成 27 年区長会役員、公民館、市議会議員、協力委員 （計 15 名）

これまでの経過

*平成 27 年 4 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 27	3月 第1回検討委員会	検討課題の整理・確認
	4月 第2回検討委員会 区長、区民アンケート	検討委員会の取組内容
		各区の世帯・組織・行事、三方地区の自慢・課題等の把握
	5月 第3回検討委員会 区内事業所調査	役員・部会の構成、設立準備会について
		従業員数、事業内容等の把握
	6月 第4回検討委員会 第5回検討委員会	設立準備会等について
		準備会規約、イベント（バーベキューまつり）の検討
	7月 第6回検討委員会 第1回バーベキューまつり実行委員会 第1回準備会	コミュニティ組織設立に向けた説明会
		小中学生向けアンケート
		地域への思い、地域のためにできること等
		検討委員会のまとめ、バーベキューまつりについて
8月 第2回バーベキューまつり実行委員会 第3回バーベキューまつり実行委員会 バーベキューまつり	目的、組織、内容、予算、日程等について	
	構成、組織、規約、事業計画	
	協力員の確保、部会の開催等	
11月 第1回写真コンテスト	最終確認、当日までの検討課題等	
	バザー、ステージイベント、アンケート	
H 28	2月 第2回準備会	文化作品展にて展示、来館者による投票
	3月 第3回準備会 ワークショップ	ワークショップについて
		ワークショップに向けて 地域の課題

分野別取組み内容

地域振興

- ①子どもの登下校見守り活動
- ②子ども放課後児童クラブ
- ③防犯活動
- ④三方ウオッチング
- ⑤三方写真コンテスト
- ⑥コミュニティだよりの発行
- ⑦三方バーベキューまつり

地域防災

- ①消防訓練
- ②防災訓練
- ③普通救命講習
- ④消防団による活動

地域福祉

- ①敬老会
- ②人権講演会
- ③人権部部員研修会
- ④サロン活動

人づくり

- ①球技大会
- ②綱引き大会
- ③運動会
- ④駅伝大会
- ⑤文化作品展
- ⑥研修旅行
- ⑦キックベースボール大会
- ⑧ちびっ子カーニバル
- ⑨新春子ども大会
- ⑩夏休みラジオ体操
- ⑪公民館各種教室

コミュニティの取組み



三方地区の新しい地域コミュニティづくりの広報とともに、人材発掘、世代間や集落間の一層の交流を目的に、三方地区のキックオフイベントとして「三方地区バーベキューまつり」を開催しました。

あいにくの空模様でしたが約250人の人が来場し、88人のスタッフがおもてなしをしました。スタッフ募集は実行委員が声掛けをしたほか、中学生にもチラシを配りました。

また、当日は送迎バス2台を走らせ、交通手段のないお年寄りにも配

慮しました。「他のイベントにもバスを出してほしい」と大変好評でした。

何事も続けていかないとステップアップできないので、今後も工夫を重ねながら、子どもからお年寄りまでが参加でき、また、各区の特色が出せるようなイベントを続けていきたいと思っています。

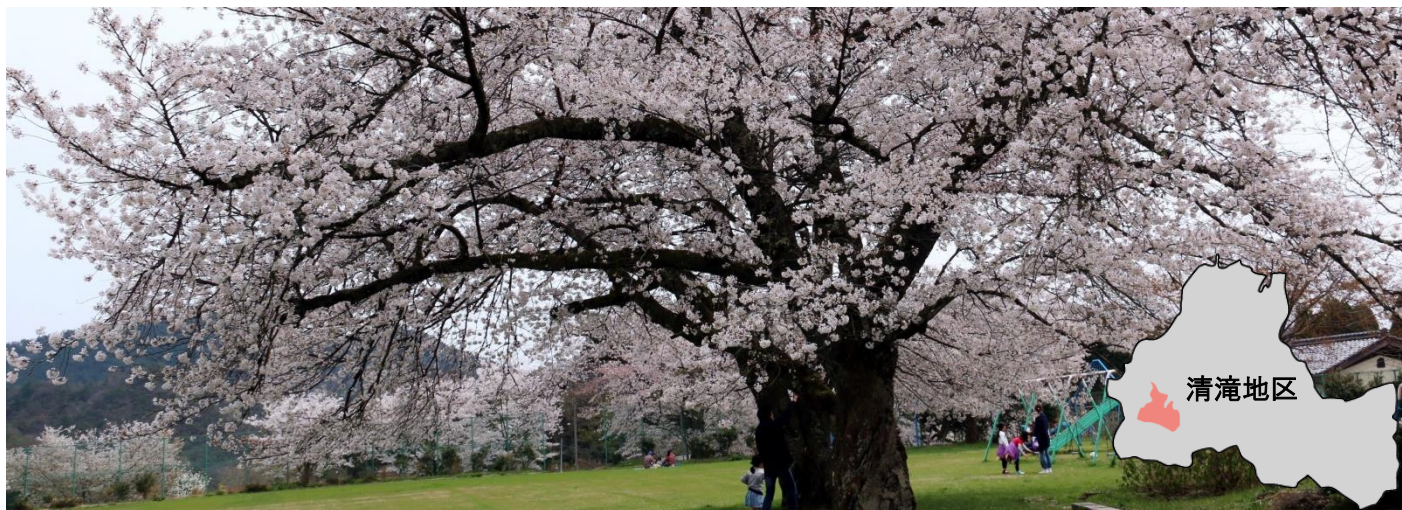
各種アンケートやバーベキューまつりを通して、コミュニティに関心を持っていただいた方が増えていることはありがたいことです。

三方地区には、「三方ウオッチング」や「駅伝大会」のようなユニークな取組みをはじめとして様々な取組みがあり、回数を重ねてきました。新しい地域コミュニティづくりでは、これまでの取組みも大切にしながら、無理のない範囲で、できることから少しずつ取り組んでいけたらと考えています。



小谷俊英さん
(同準備会 会長)

清滝地区コミュニティ設立準備委員会



地区の概況

人口	1,599 人	小学校	清滝小学校（児童数 105 人）
世帯数	574 世帯	中学校	なし（日高西中学校区）
高齢化率	34.5%	幼稚園	なし
集落数	7	保育園	なし
		こども園	きよたき認定こども園（園児数 63 人）

組織の状況

代表者名 岡森 和清
 会の構成 区長会、市議会議員、公民館（計 18 名）

これまでの経過

*平成 27 年 10 月モデル開始

	これまでの取り組み	主な内容
H 27	7月 第1回検討委員会	準備委員会設立の検討
	8月 第1回準備委員会	役員・規約・アドバイザー・関係団体説明会開催の検討
	10月 第2回準備委員会	関係団体説明会について・スケジュールの検討
	11月 関係団体説明会	説明「新しい地域コミュニティについて」
	第3回準備委員会	今後のスケジュール・区長アンケートの実施
12月 第4回準備委員会	基本となる取り組み（組織図）・規約の検討	
H 28	1月 第5回準備委員会	組織図・規約・組織の名称決定方法の検討
	3月 第6回準備委員会 第1回座談会（ワークショップ）	座談会（ワークショップ）、今後の取り組みについて 新しい地域コミュニティについて

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①準備委員会だより発行 ②清滝桜まつり ③清滝溶岩流まつり ④子どもの見守り活動 ⑤神鍋高原線 200 円バス利用促進 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ①消防団による活動 ②防災訓練 ③救命講習会
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①敬老会 ②サロン活動 ③おひとり住まいの高齢者交流会 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①文化作品展 ②ソフトバレーボール大会 ③体育祭 ④少年少女キックベースボール大会 ⑤ちびっこカーニバル ⑥夏休みラジオ体操 ⑦乳幼児親子サークル ⑧公民館各種教室

コミュニティの取組み



これまで6回の設立準備委員会を開催し、区長のコミュニティに対する理解を進めてきました。区長に対するアンケートも実施し、各区独自の取組みを洗い出している段階です。

今後はワークショップを通してより多くの人に参加してもらい、清滝地区の課題や将来像について意見交換をしてもらうことにしています。

清滝地区の特徴として、地区が山に沿ってあるため、高低差 200m、全長 4km と、とにかく坂が多く、

車がないと地区内の移動が困難な状況です。そのちょうど中間地点に公民館が立地しており、住民が気軽に集うことが難しいです。

しかし、区によっては 100 円喫茶やいきいきサロンを開催したりしています。地形のハンデをうまく克服していきたいです。

区長の入替わりによって、委員の中でも新しい地域コミュニティに対する理解がなかなか進まないのが悩みです。

まずはできることから取り組んで、コミュニティの活動を目に見える形で示せばいいと思っています。たとえば、清滝溶岩流まつりや清滝桜まつりなどのイベントのチラシに主催者としてコミュニティの名前を入れることで、「これもコミュニティの取組みになるのか」というように、少しずつでも理解してもらえる工夫をしていきたいと思っています。



岡森和清さん
(同準備委員会 会長)

菅谷地区コミュニティ設立準備会



地区の概況

人口	683 人	小学校	なし（福住小学校区）
世帯数	237 世帯	中学校	なし（出石中学校区）
高齢化率	31.5%	幼稚園	なし
集落数	5	保育園	なし
		認定こども園	なし

組織の状況

代表者名 杉本 武己
 会の構成 平成 27 年・28 年区長、公民館 他 （計 10 名）

これまでの経過

*平成 27 年 4 月モデル開始

		これまでの取組み	主な内容
H 27	7月	第1回設立準備会	規約、役員、提出資料の検討
		第2回設立準備会	準備会開催打合せ
	8月	第3回設立準備会	規約、役員選出、活動計画、予算の協議
	9月	勉強会	『地域コミュニティとは』についての勉強会
H 28	3月	1月 第1回ワークショップ	地区の課題・現状の洗出し、未来について
		第2回ワークショップ	集落・地域のコミュニティ、人と人との繋がり、地域振興・地域の活性化、暮らしの安全・安心・防災、教育・福祉について
		第3回ワークショップ	「コミュニティセンターのあるべき姿」について

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①子ども見守り活動 ②放課後子ども教室 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①救命、救急講習 ②消防団による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①敬老会 ②サロン活動 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①運動会 ②文化祭 ③グランドゴルフ大会 ④公民館各種教室

コミュニティの取組み



平成 27 年 4 月からモデル地区に取り組んでいます。設立準備会には区長会をはじめ、公民館の部会長、民生委員、消防団、子ども会など各種団体から委員を選出し、新しい地域コミュニティ組織の検討や意識の高揚に努めています。子ども会からも委員を出すことで、若い人にも参加してもらいやすい体制にしています。3 月には女性対象のワークショップも実施しました。

今後はワークショップやアンケートを通じて地域の現状と課題の把握を行い、菅谷地区の目指すべき

方向性を探っていきます。

また、住民へのさらなる周知のため、コミュニティだよりを発行しているほか、サロンなどで出前講座を行うことも検討しています。

さらに、地区内には誇れる地域資源がたくさんあるので、まち・むら探検もやっていきたいと考えています。

少子化の影響で小学校が廃校になり、子ども達はバスで通学しています。そのような中で、子どもが自然の中で遊ばなくなったように思います。そこで、子どもたちに山の散策などをしてもらえるような取組みを展開していけたらと思っています。

また、公民館の周りを花でいっぱいにして、子どもたちが、自然と身近に触れ合う機会を増やしていきたいです。



杉本武己さん
(同準備会 会長)

福住地区コミュニティ設立準備会



地区の概況

人口	1,509人	小学校	福住小学校（児童数 141人）
世帯数	532世帯	中学校	なし（出石中学校区）
高齢化率	29.8%	幼稚園	福住幼稚園（園児数 33人）
集落数	9	保育園	なし
		認定こども園	なし

組織の状況

代表者名	湯口 睦
会の構成	平成 27 年・28 年度区長会、公民館顧問、公民館（計 19 名）

これまでの経過

*平成 27 年 4 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 27	4月 第1回協議会	新しい地域コミュニティについて検討
	5月 第2回協議会	設立準備会 会長人選協議
	第3回協議会	設立準備会規約案協議
	第4回協議会	会長、役員協議
	6月 第5回協議会	会長、役員、会員、選出
	第6回協議会	設立準備会議題と規約、開催日協議
	7月 第1回設立準備会	規約、活動計画、役員、予算案等議案提示、承認
	第2回設立準備会	アドバイザーとの初顔合わせ、現状と課題
	8月 第3回設立準備会	コミュニティとはなぜ？？講義と質疑応答
	9月 第4回設立準備会	意見交換会（WS）の区民参加動員内容の検討
	10月 第5回設立準備会	コミュニティとは？座学と意見交換会
	11月 第6回設立準備会	意見交換会の総括
12月	福住コミュニティの施設名称募集	地区に親しまれ愛される施設の名称を公募
H 28	1月 第7回設立準備会	新会員紹介、取組経緯報告、組織、取り組むもの役割検討
	2月 第8回設立準備会	分野別取組み内容の検討、各部の役割検討
	3月 第9回設立準備会	新しい地域コミュニティ組織の規約案検討

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①ほたる祭り ②静桜宴 ③愛宕の火祭り ④床尾山山登り 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ①消防訓練 ②救急救命訓練講習
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①生活公共交通に関する取組み ②社会福祉協議会による研修 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①校区民運動会 ②卓球大会 ③文化祭 ④ソフトバレーボール大会 ⑤うたごえ喫茶 ⑥乳幼児親子サークル ⑦公民館各種教室

コミュニティの取組み



平成 27 年 4 月からモデル地区に取り組んでいます。

平成 27 年 10 月に、新しいコミュニティ意見交換会を開催し、アドバイザーの講演のあと、各区の役員（区長、副区長、会計、女性部、青壮年部、女性体育部）、各団体代表など 50 人で福住の良いところや課題を出しました。

11 月には意見交換会の振り返りを行いました。区により若干の違いがありますが、気軽に街へ行ける、程よく自然もあるところが福住地区の強みであり、人情や優しさにあ

ふれていることを認識しました。

福住地区は、公民館事業の継承、拡大などの取組みを新しいコミュニティ組織に置き換え、さらに課題解決のできる組織として何をするかを設立準備会で検討していきます。

また、組織の名称を募集したり、設立準備会の内容を公民館だよりにのせて PR を行うなど、たくさんの地区民の参加の下で、新しい地域コミュニティを進めていきます。

部会長などのリーダーを引き受けてくれそうな人がなかなか見つからず、困っています。定年退職して時間にゆとりのある世代にはそれぞれ特技や才能がある人が多いと思うので、まずは将棋などの遊びからでいいので、コミュニティに顔を出してもらえそうな場を提供し、人材マップの作成も必要ではないかと考えています。

また、女性にももっと参加してもらいたいと思っています。各区から選出してもらうなどの工夫が必要だろうかと検討しています。



湯口 睦さん
(同準備会 会長)

寺坂地域コミュニティ協議会設立準備委員会



地区の概況

人口	618人	小学校	寺坂小学校（児童数20人）
世帯数	201世帯	中学校	なし（出石中学校区）
高齢化率	30.6%	幼稚園	寺坂幼稚園（園児数7人）
集落数	4	保育園	なし
		認定こども園	なし

組織の状況

代表者名 下川 諭

会の構成 区長、公民館、体育部、文化部、老人会、青壮年会、婦人部、幼・小学校、PTA、消防団、子ども会、地域応援団、民生委員児童委員、スポーツクラブ21、農会、御出石神社、元気体操教室、土野谷開発委員会、防犯委員（計54名）

これまでの経過

*平成27年4月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 27	4月 第1回設立準備委員会（設立総会）	設立準備会規約（案）の可決、コミュニティ組織の目的と役割
	7月 第2回設立準備委員会	コミュニティ組織への移行について、今後のスケジュールについて
	9月 第3回設立準備委員会	合橋地域づくりの会による講演、先進地視察、出前講座について
	10月 各区出前講座（桐野） 先進地視察研修	「新しい地域コミュニティとは？」について 石井地区（佐用町）
	11月 各区出前講座 （日野辺、中野、新宮、寺坂）	「新しい地域コミュニティとは？」について

分野別取組み内容

地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ①御出石神社秋祭り ②納涼大会 ③伝統行事の継承 	地域 防災	<ul style="list-style-type: none"> ①園児・児童登下校見守り ②消防訓練 ③救急救命訓練・講習会 ④避難訓練 ⑤消防団による活動
地域 福祉	<ul style="list-style-type: none"> ①元気体操教室 ②サロン活動 ③独居高齢世帯の見回り 	人 づ く り	<ul style="list-style-type: none"> ①総合運動会 ②文化祭 ③グラウンドゴルフ大会 ④バレーボール大会 ⑤卓球大会 ⑥床尾山に登ろう ⑦そば打ち大会 ⑧乳幼児親子サークル 「あかちゃんまんクラブ」 ⑨PTA との協賛事業 (もちつき大会、講演会等) ⑩公民館各種教室

コミュニティの取組み



寺坂地域コミュニティ協議会設立準備委員会は、各団体の代表者等からなる 54 人が準備会委員となり、アドバイザーの講演会、先進地視察等、新しい地域コミュニティの取組みに向けた学習会や活動を行っています。



役員だけが理解しても進まないで、各集落に出向いて説明会を開催しました。

そこでは、「なぜ今必要なのか」「よく分からない」という意見もありますが、「自分たちの地区で出来るところは自分もがんばるわ」とい

う声もあり励みになります。

一方で、「ふーん、こういうもんか」と反応が薄いこともあります。資金面で負担になるのではないかという意見は出ましたが、区長や役員の負担が増えるのでは？などの不安の声はあまり出てきません。コミュニティの具体的な動きがまだイメージできないからでしょう。また、出前講座の参加者は戸主が中心のため、今後は様々な活動団体の総会などに出向いて説明していく予定です。

平成 16 年の水害時に復旧支援をしてくれた西宮の NPO とは今でも交流が続いています。このような繋がりも活かしながら今後は地区全体として、外部との交流の推進を図っていきたくて考えています。

寺坂地区は人口が少ないですが、その分とてもまとまりが良く、新しいコミュニティに向いていると思います。課題をより多くの住民と共有しながら進めていきたいです。



下川 諭さん
(同準備委員会 委員長)

小坂地区コミュニティ協議会（仮称）設立準備会



地区の概況

人口	2,022人	小学校	小坂小学校（児童数 108人）
世帯数	704世帯	中学校	なし（出石中学校校区）
高齢化率	33.3%	幼稚園	小坂幼稚園（園児数 24人）
集落数	13	保育園	小坂保育園（園児数 86人）
		認定こども園	なし

組織の状況

代表者名	中西 繁博
会の構成	区長会、公民館、小坂校友会、幼・小学校PTA、寿会、消防団、出石防犯協会小坂支部、農会、民生委員児童委員、土地改良区、区長推薦者（計 56名）

これまでの経過

*平成 27 年 4 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容	
H 27	4月 第1回準備会 発足会	新しい地域コミュニティ概要説明	
	5月 第2回準備会	「地域づくりの取組」の講話 弘道、中筋	
	7月 第1回拡大準備会 （第1回ワークショップ）	「地域づくりのすすめ」講話、小坂の魅力と課題	
	8月	第2回拡大準備会	第1回ワークショップのまとめ、「紹介まち歩き」について
		第3回拡大準備会 （第2回ワークショップ）	「紹介まち歩き」実施、グループで紹介
	10月	第4回拡大準備会 （第3回ワークショップ）	小坂区の望ましい将来の姿を考える
	11月	第5回拡大準備会 （第4回ワークショップ）	望ましい将来へ向けた活動のアイデアを考える
		小中高生アンケート実施	11月26日配布→12月18日回収
	12月	第6回拡大準備会 （第5回ワークショップ）	望ましい将来へ向けた活動のアイデアを考える
	H 28	2月 第7回拡大準備会 （第6回ワークショップ）	はじめの第一歩計画をまとめる

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①子どもの見守り活動 ②ふれあい農園 ③やすらぎ市民農園 ④準備会だよりの発行 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①消防団による活動 ②普通救命講習 ③自主防災活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①出石寿会参加 ②いきいきサロン活動 ③老人給食 ④玄さん体操 ⑤敬老会 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①小坂校区民運動会 ②小坂校区民文化祭 ③小坂校区民グラウンドゴルフ大会 ④夏季ソフトボール大会 ⑤親善ゴルフ大会 ⑥夏休みラジオ体操 ⑦幼児教育学級 ⑧公民館各種教室

コミュニティの取組み



区長等をガイド役にした紹介まち歩き（まちむら探検）を開催しました。56 人の方にご参加いただきました。区長さんは各自で一生懸命勉強されて、中にはお手製のガイドブックを参加者に配布した方もおられました。また、カメラ係、地図係、調査票係など、しっかりとした記録を残すための役割を充実させたのが特徴です。

紹介まち歩きの結果発表会では、各区の自慢大会のようになって大変盛り上がり、時間が足りなくなるほどでした。過去には小さなスキー

場があったことや出石鉄道の跡など、新たな発見もありました。

また、これまでに6回のワークショップを実施しました。地区の魅力と課題を出し合い、望ましい地域の将来像や、将来像の実現のための活動アイデアを話し合いました。

11月には小学生（4、5、6年）、中学生、高校生計146人に、地域づくりに活かすためのアンケートを実施しました。これからも小坂地区民のつながりが深まるような取組みを大切に、心豊かな地区を目指していきたいと思っています。

小坂地区は地理的に大きく2つに分けられ、出石川を挟んで水没した経験がある地区と、水没の経験がない地区があります。この経験の差が防災に対する意識の違いを生んでいて、今後、コミュニティとして一体となって取り組んでいく際の課題ではないかと考えています。この意識のズレをうまく活用して防災意識を高めていけたら良いと思います。また、高齢世代の災害の経験から得られた知恵も次世代に引き継ぐ工夫もしていきたいと考えています。



中西繁博さん
（同準備会 会長）

小野地区コミュニティ協議会設立検討会



地区の概況

人口	1,271人	小学校	小野小学校（児童数 60人）
世帯数	427世帯	中学校	なし（出石中学校区）
高齢化率	28.8%	幼稚園	小野幼稚園（園児数 17人）
集落数	4	保育園	なし
		認定こども園	なし

組織の状況

代表者名 加藤 幸洋

会の構成 区長、前区長、公民館、チクタクひぼこ運営協議会代表（計9名）

これまでの経過

*平成26年10月モデル開始

		これまでの取組み	主な内容
H 26	10月	第1回設立検討会	いずし古代学習館の指定管理について
	12月	第2回設立検討会	いずし古代学習館の指定管理について
	2月	第3回設立検討会	規約及び組織について
	3月	第4回設立検討会	地域コミュニティの運営体制について
	5月	第1回設立検討会（第1回役員会）	H26事業報告・決算、H27事業計画・予算について
	6月	第2回設立検討会（第2回役員会）	いずし古代学習館の指定管理について
		第3回設立検討会（第3回役員会）	アドバイザーとの打ち合わせについて
	7月	第4回設立検討会（第4回役員会）	いずし古代学習館の指定管理について
	8月	第5回設立検討会 （第1回地域づくりワークショップ）	地域づくりの進め方・地域の現状把握
		第6回設立検討会（第5回役員会）	地域マネージャーについて、視察研修について
	10月	第7回設立検討会 （第2回地域づくりワークショップ）	地域の解決すべき課題の抽出
	11月	第8回設立検討会（先進地視察研修）	与布土地域自治協議会（朝来市） 高柳地区自治協議会（養父市）
		第9回設立検討会 （第3回地域づくりワークショップ）	課題のアイデア、地域の将来像の描出
12月	第10回設立検討会（第6回役員会）	規約・組織について、一括交付金について	
	小野地区区民説明会	袴狭区、口小野区、奥小野区、宮内区	
H 28	1月	第11回設立検討会（第7回役員会）	規約・組織について
	3月	第12回設立検討会 （第4回地域づくりワークショップ）	まとめ
		第13回設立検討会（第8回役員会）	規約・組織について、地域づくり計画について

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①チクタクひぼこの運営 ②伝統文化・行事の継承 ③小野フェスタ、農産物の品評・直売会 ④田んぼや水路の生きもの調査 ⑤てっせん街道を守る活動 ⑥広報誌「お知らせ」の発行 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ①防災ワークショップの開催 ②防災・減災活動 ③消防団による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①健康で長生きする活動 ②サロン活動 ③玄さん体操 ④敬老会 ⑤老人会活動 ⑥高齢者の見守り活動 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①総合体育大会 ②総合文化祭 ③スポーツクラブ 21 小野活動 ④グラウンドゴルフ大会 ⑤ソフトバレーボール大会 ⑥子どもの見守り活動 ⑦乳幼児サークル「おのっこの森」 ⑧公民館各種教室

コミュニティの取組み



平成 23 年 3 月に市営バス「イナカー」が廃止となったため、小野地区は公共交通の空白地域となってしまいました。そこで、地区の乗合タクシーである「チクタク」を運行するため、平成 23 年 5 月に住民で組織した「チクタクひぼこ運営協議会」を立ち上げました。

運転や利用予約の対応等を協議会のメンバーで行っていて、週 3 日（月・水・金）運行しています。

一日当たりの平均利用者数は年々増加し、平成 26 年度は平均 11 人/日となり、年間では 1,577 人の

利用がありました。現在は、40 代～70 代のドライバー 15 人で運行しています。

チクタクの運行により、買い物や通院が便利になったとお年寄りに喜んでもらっているようです。また、チクタクの車内も住民同士の貴重な交流の場となっていて、会話を楽しんでおられます。

チクタクの運行によってお年寄りが元気になったと感じられます。

小野地区は天日槍（あめのひぼこ）および此隅山城（このすみやまじょう）をはじめとする「歴史・文化」と、法沢山系の水源の里であることから「自然・田園」という 2 つのテーマを掲げてまちづくりに取り組みたいと考えています。まちづくりを進める上では、顔を合わせて話し合いをすることが大事だと考えています。同じ地区内でも集落ごとに特色があって、新たな発見もあるので面白いと思います。平成 27 年度は役員会 8 回、視察研修 1 回、地域づくりワークショップを 4 回開催しました。平成 28 年度は、さらに、地域づくり計画、組織構成、規約などについて話し合い、協議会の設立を進めていきます。『ひぼこに学ぶ小野の里づくり』



加藤幸洋さん
（同検討会 会長）

地域コミュニティ組織



コミュニティなかすじ



地区の概況

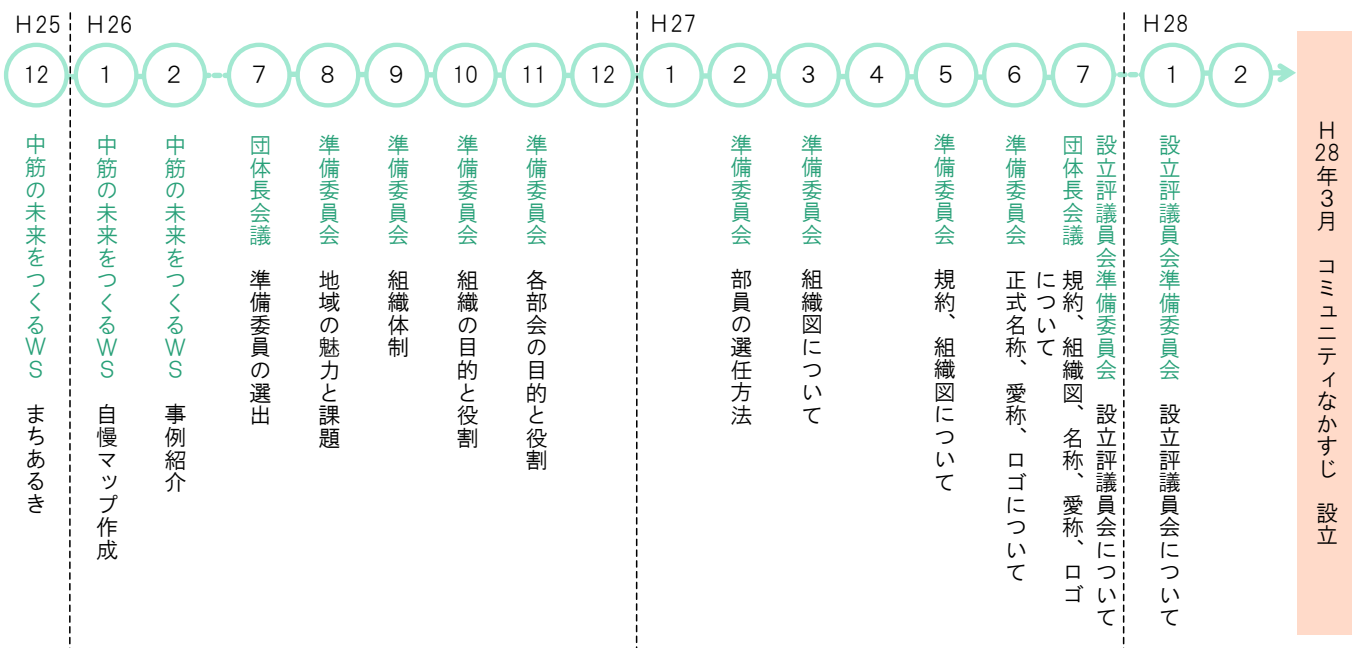
人口	1,946 人	小学校	中筋小学校（児童数 110 人）
世帯数	666 世帯	中学校	なし（豊岡南中学校区）
高齢化率	33.8%	幼稚園	中筋幼稚園（園児数 13 人）
集落数	9	保育園	なし
		認定こども園	なし

組織の状況

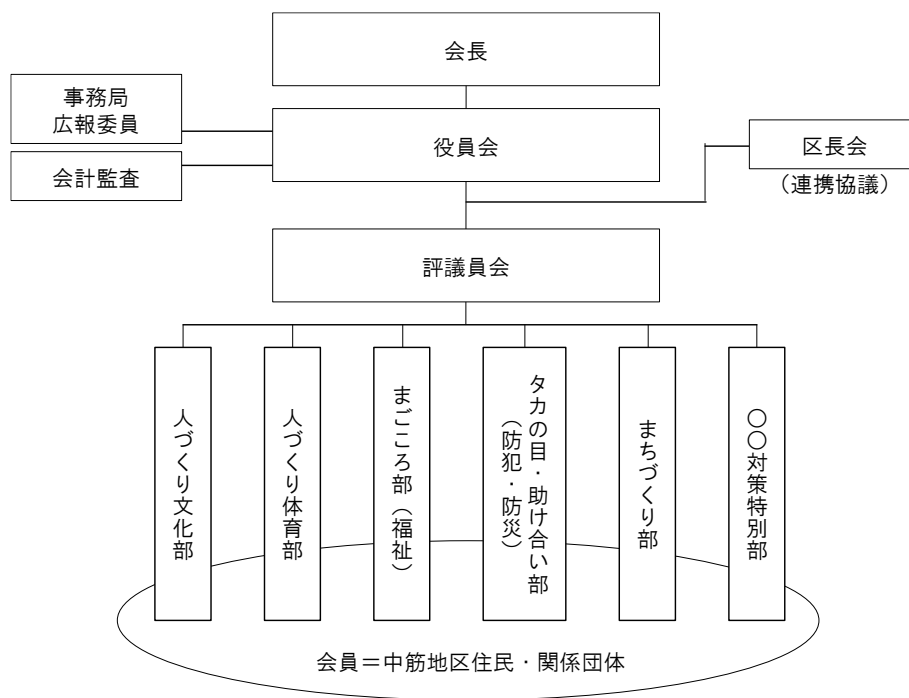
代表者名 太田 洋治
 設立年月日 H28.3.23
 役員体制 会長 1 名、副会長 1 名、事務局長 1 名、各部長 5 名+α

設立までの経過

*平成 26 年 4 月モデル開始



組織図



はじめの第一歩計画

平成 28 年度 各部会において検討する。

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①大師山まつり ②新川の歴史探訪 ③ホタル観察会 ④カブトムシ・クワガタ探検隊 ⑤野菜即売会 ⑥子どもの見守り活動 ⑦防犯活動 ⑧中筋の旬を楽しむ会 ⑨尼崎エコツアーの開催 ⑩こばたてるみ先生講演会の開催 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ①防災マップづくり ②消火訓練 ③消防団による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①中筋地区敬老会 ②一人暮らし高齢者お弁当作り、訪問 ③福祉講演会 ④福祉連絡協議会議 ⑤支え合いマップづくり 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①中筋地区運動会 ②ソフトバレーボール大会 ③ソフトボール大会 ④グラウンドゴルフ大会 ⑤春の中山丘陵歩こう会 ⑥文化祭 ⑦三世代早起きラジオ体操 ⑧乳幼児親子サークル「わんぱクラブ」 ⑨幼児学級 ⑩公民館各種教室

コミュニティの取組み



豊岡最大の野菜の産地である中筋地区はハウス栽培が盛んです。「地産地消」できるということがいかに素晴らしいかを知ってもらうべく、子どもから大人まで交流を深めながら中筋で採れた“旬”の野菜を味わう「中筋の旬を楽しむ会」を、年4回（春夏秋冬）開催しました。「夏の旬」では、収穫したスイートコーンを生で試食したほか、夏野菜カレー、しそジュースを参加者みんなで作って食べました。食育を通して、子どもたちに中筋の素晴らしい所を発見してもらええる企画となっています。

また、市外との連携も始まっており、尼崎市エコツアー、沖永良部島との交流などを実施しています。コミュニティ準備委員会では、会議を重ね、規約・組織図（案）を作成し、27年7月に団体長会議（評議員会）で承認されました。区単位での説明会、「コミュニティなかすじなんでも話そう会」を経て、平成28年3月23日「コミュニティなかすじ設立評議員会」を開催しました。28年度より「試行運用」として、各部で過去の事業踏襲にこだわらず、見直し、新しい考え方で事業計画を進めます。

平成28年度から「コミュニティなかすじ」の試行運用を始めます。モデル地区としてこの2年間、中筋の皆さんが「新しい地区づくり」に何を期待し、どんなことをやって欲しいか、意見要望を準備委員会で検討し、新しい「コミュニティなかすじ」像と組織の構成を練り上げてきました。また、この取組みを地区の皆さんに知っていただくことが重要と考え、周知・説明には特に力を入れてきました。区長を通じての周知はもちろん、区の会議開催に併せて説明したり、ホームページやFacebook、公民館だより等で繰り返し広報・周知を行いました。



太田洋治さん（中筋地区公民館長兼コミュニティなかすじ会長）

西気明日のいしずえ会



地区の概況

人口	813人	小学校	なし（清滝小学校区）
世帯数	285世帯	中学校	なし（日高西中学校区）
高齢化率	36.5%	幼稚園	なし
集落数	7	保育園	なし
		認定こども園	なし

組織の状況

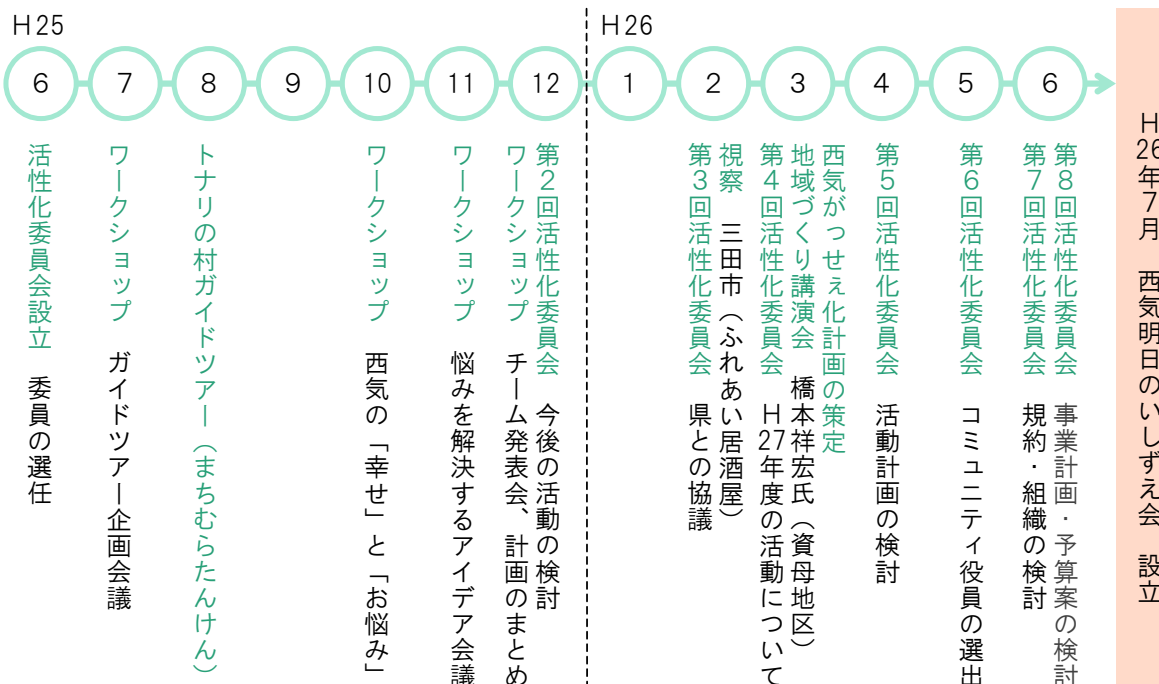
代表者名 田原 宏二

設立年月日 H26.7.18

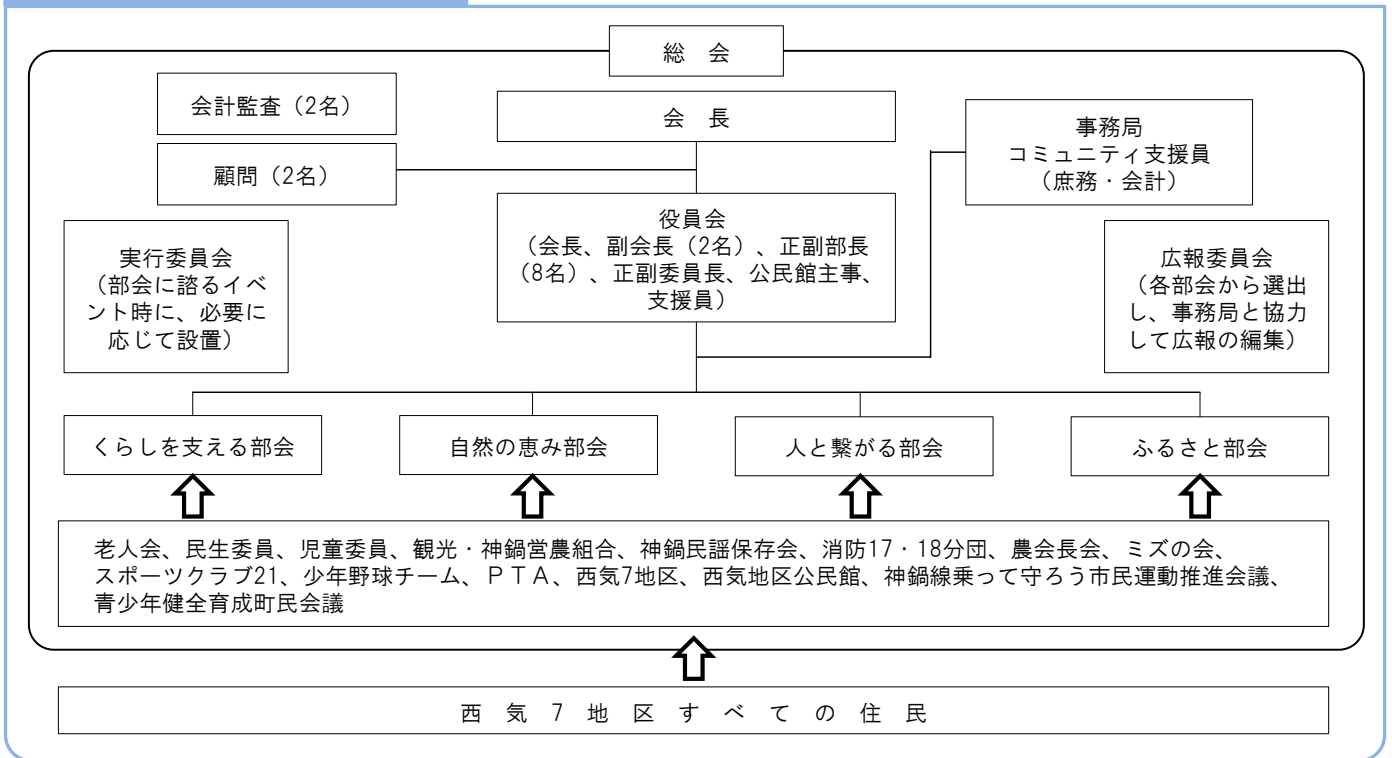
役員体制 会長1名、副会長2名、部長4名、副部長4名、広報委員長1名、広報副委員長1名、顧問2名

設立までの経過

*平成26年4月モデル開始



組織図



はじめの第一歩計画

西気がっせえ化計画

おかえり、ただいま。

西気の風景や人に、そんな声をかけあえるような”帰りたくなる”地域を目指して

策定経緯

「人口減少、高齢化による地域力の低下」、「少子化による学校統合」、「生活基盤施設の減少」、「日常生活に支障」など地区の厳しい現実を打開するため、兵庫県の「ふるさと自立計画推進モデル事業」に取り組み、県の派遣アドバイザー（若狭健作氏）の指導のもと、平成26年3月に策定。

策定手法

「いいところ探し ガイドツアー企画会議」、「トナリの村ガイドツアー（まちむらたんけん）」、「西気で感じる幸せとお悩み会議」、「お悩みを解決するアイデア会議」、「チーム発表会＋計画のまとめ」を主題とした計5回のワークショップを開催し、計画としてまとめた。

計画概要

「ヒトプロジェクト（人のつながり演出する）」、「暮らしプロジェクト（これからの暮らし支える）」、「自然プロジェクト（自然の恵み活かす）」の3部門で、「今すぐできそうな事業」、「1年後の実現を目指す事業」、「2年後の実現を目指す事業」、「いつかはやってみたい事業」を盛り込んだ計画となっている。

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の魅力スポットの研究 (田んぼアート) ②西気地区写真コンテスト ③西気地区探検 ④神鍋高原線 200 円バス利用促進 ⑤広報紙「西気明日のいしずえ」発行 ⑥西気明日のいしずえ会だより発行 ⑦地域資源の再確認勉強会 ⑧神鍋大根プロジェクト ⑨ふれあい持ち込み居酒屋 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ①普通救命講習 ②消防訓練 ③消防団による活動 ④避難訓練
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①西気地区敬老会 ②まごの手活動 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①西気地区親睦交流会 ②西気ふれあいの集い ③グラウンドゴルフ大会

コミュニティの取組み



地域の足である「神鍋高原線 200 円バス」の運行を守るため、前年度に引き続き「西気地区親睦交流会」や「西気地区敬老会」等を道の駅「神鍋高原」で開催し、バスの利用を促進しました。

休耕田を活用した「神鍋大根プロジェクト」では、種植え等で世代間交流を行いました。また、収穫体験即売会を実施したところ、西気地区外の方にも足を運んでいただくことが出来ました。収穫した大根は道の駅「神鍋高原」と連携し、「神鍋高原大根キムチ」を作って販売しました。

交流事業として開催した「ふれあい持ち込み居酒屋」には、西気地区内外から、子どもからお年寄りまでの計 50 人が参加しました。各々が持ち込んだ料理を味わい、じゃんけん大会等のアトラクションでは大変盛り上がりしました。

情報発信の取組みとして、地区民に向けて広報紙を発行しています。また、ホームページを作成し、地区内外に向けた情報発信も行っています。

西気小学校が廃校になってから、地域に元気がなくなったように感じています。そのような中で、平成 27 年 4 月に、大学を卒業した西気出身者 10 人のうち 6 人が実家から通勤できる職場に就職しました。こんなに嬉しいことはない、お迎え会を開催しました。

地区内に雇用を生み出すことはなかなか難しいけど、地元に戻る決断をしてくれて本当にありがたいです。今後は、戻ってきた若者が少しでもコミュニティに参加してくれるように工夫していけたら良いと考えています。



中島万佐代さん
(自然の恵み部会 副部長)

弘道コミュニティ協議会



弘道地区

地区の概況

人口	4,027人	小学校	弘道小学校（児童数 231人）
世帯数	1,584世帯	中学校	出石中学校（生徒数 296人）
高齢化率	30.6%	幼稚園	出石幼稚園（園児数 58人）
集落数	16	保育園	出石愛育園（園児数 130人）
		認定こども園	なし

組織の状況

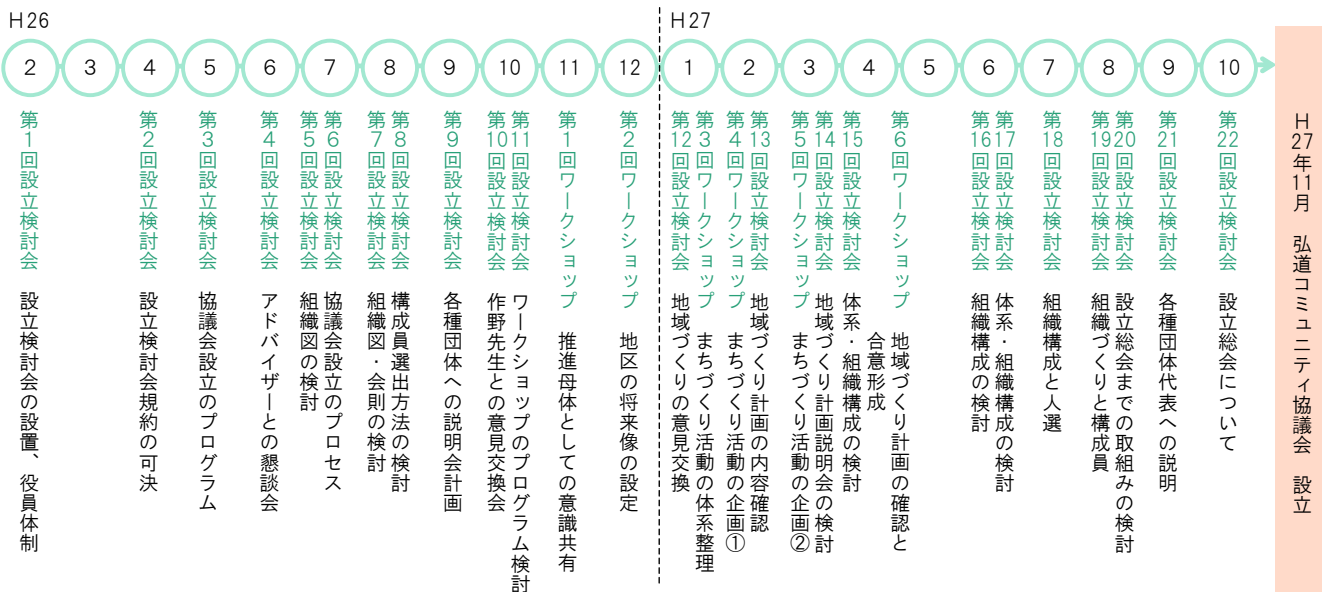
代表者名 片山 正之

設立年月日 H27.11.19

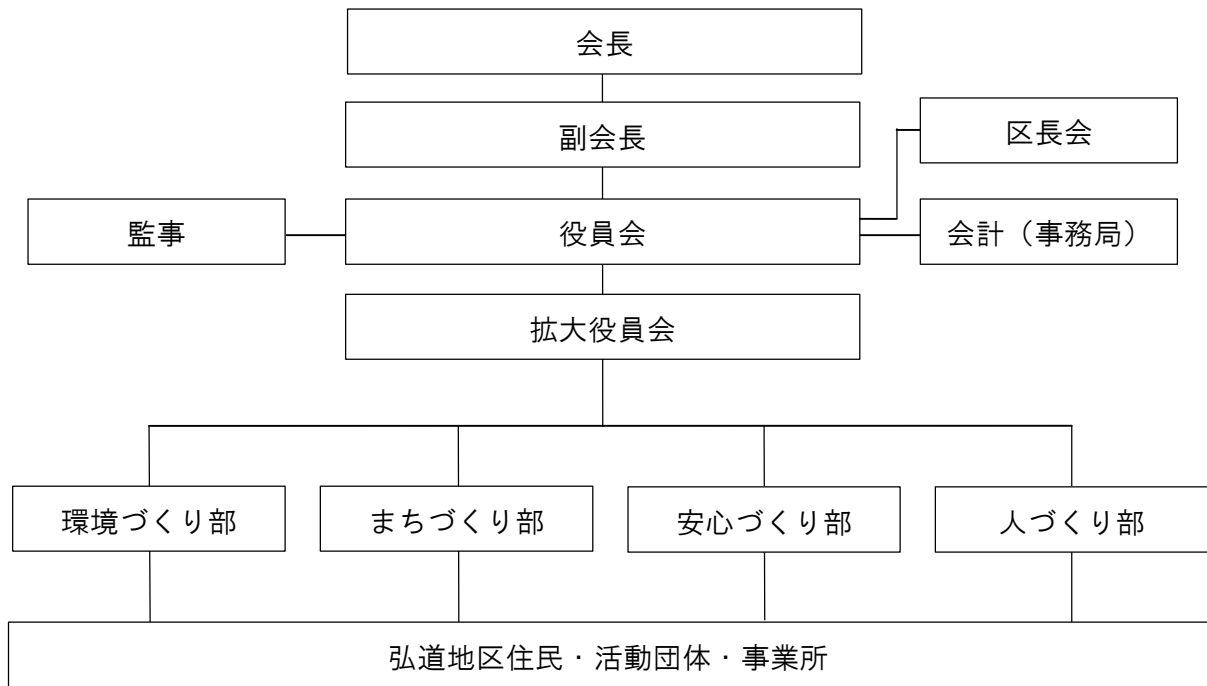
役員体制 会長1名、副会長2名、各部会長4名、監事2名、会計1名

設立までの経過

*平成26年4月モデル開始



組織図



はじめの第一歩計画

目標とする将来像

①自然環境

- ・ 谷山川の清流、有子山の緑、四季折々の豊かな自然、美しい空気と水に恵まれた、彩りのある弘道

②歴史・文化環境

- ・ 出石城下の高い歴史性と弘道館精神に代表される文化性に育まれた、美しく趣のある弘道

③生活環境

- ・ 水害や火災等の災害に強く、子どもからお年寄りまで楽しく安心して暮らせる弘道

④生業・地域振興

- ・ 歴史的街並み、永楽館等の貴重で多様な地域資産を上手く活用し、賑わい活気（ビジネス）あふれる弘道

⑤教育・福祉環境

- ・ 充実した学びやふれあいの中で、心も体も元気に（生涯）過ごせる弘道

⑥人づくり、コミュニティづくり

- ・ 優しい気持ちとお互いを尊重した繋がりで支え合える弘道

環境づくり部

- ◎豊かで安全な山と川を子どもたちに（自然環境）
 - ・ 谷山川の清掃活動（谷山川を育む会への協力）
 - ・ 谷山川での水遊びの実施
 - ・ 16区借用山林の保全活用（手入れと広葉樹の植樹）

まちづくり部

- ◎弘道館の精神に学ぼう歴史・文化環境
- ◎観光と地域の生活を支える生業・地域振興
 - ・ 出石藩 弘道館精神の学習会の実施
 - ・ 城下町の歴史学習会の実施
 - ・ 有子山城跡・出石城跡の保存と活用
 - ・ 永楽館での芸能祭の開催
 - ・ 空き家活用の推進協力
 - ・ 出石盆おどりの継承
 - ・ 秋祭りだんじりの継承

安心づくり部

- ◎安全で安心して暮らせる生活環境
- ◎子どもからお年寄りまで楽しく暮らせる生活環境
 - ・ 高齢者の集える場所づくりの提供
 - ・ 独居高齢者の安全確認協力（民生児童委員との連携）
 - ・ 弘道地区合同避難訓練の実施
 - ・ 防災学習会の実施
 - ・ 見守りネットワークの構築（高齢者・子ども・障がい者）

人づくり部

- ◎生涯健やかに暮らすための教育・福祉環境
- ◎将来の弘道を担う人づくり、コミュニティづくり
 - ・ 従来の公民館活動の継続
 - ・ 世代間交流のできる場づくりの提供
 - ・ 子どもの体験学習の協力
 - ・ 人権学習会の実施

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①城下町歴史探訪 ②谷山川の清掃活動、谷山川ウォッチング ③子ども見守り隊 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ①普通救命講習 ②支え合いマップづくり ③消防団による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①敬老会 ②サロン活動 ③元気体操 ④学校修理ボランティア活動 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ①町民運動会 ②ソフトバレーボール大会 ③ソフトボール大会 ④グラウンドゴルフ大会 ⑤親善ゴルフ大会 ⑥ふれあいコンサート ⑦土曜チャレンジ学習 ⑧読み聞かせボランティア活動 ⑨乳幼児の親子学習サークル ⑩公民館各種教室

コミュニティの取組み



弘道地区では、平成 27 年 11 月に「弘道コミュニティ協議会」を設立し、新しい地域コミュニティ組織がスタートしました。活動組織の体制確立と併せて、「弘道地区コミュニティ地域づくり計画」の取組みを実行に繋げていくために、各区・各種団体より選出のコミュニティ委員によって部会を構成し、3月より部会ごとの活動がようやく始まりました。

「地域づくり計画」の率先活動案の中から、平成 28 年度に取り組む事業・予算等を部会ごとに企画し、ま

ずは谷山川の源流を訪ねよう・弘道芸能祭の開催・高齢者の集える場所づくり・防災学習会の実施等、計画・準備を進めています。

やりたいこと・楽しいことを軸に、少しだけやらねばならぬことを交えながら、少しずつ少しずつ進めたいと思います。

豊岡市出石町の中心、16の区で構成されている弘道地区コミュニティでは、平成 27 年秋の設立総会でスタートし、それまでの検討会・ワークショップ等で掘り起こされた課題を基に、平成 28 年 3 月より活動を開始すべく、環境づくり部・まちづくり部・安心づくり部・人づくり部の 4 部体制で検討を重ねています。私の所属（安心づくり部）では、高齢者の集える場所づくりから始めようと取り組んでいます。辞書で『安心』とは、「気にかかることなく心が落ち着いていること。また、そのさま」とあります。弘道地区では、少しでも気にかかることを取り除くべく挑戦していきます。



竹中保雄さん
(安心づくり部 部会長)

資母まちづくり協議会



地区の概況

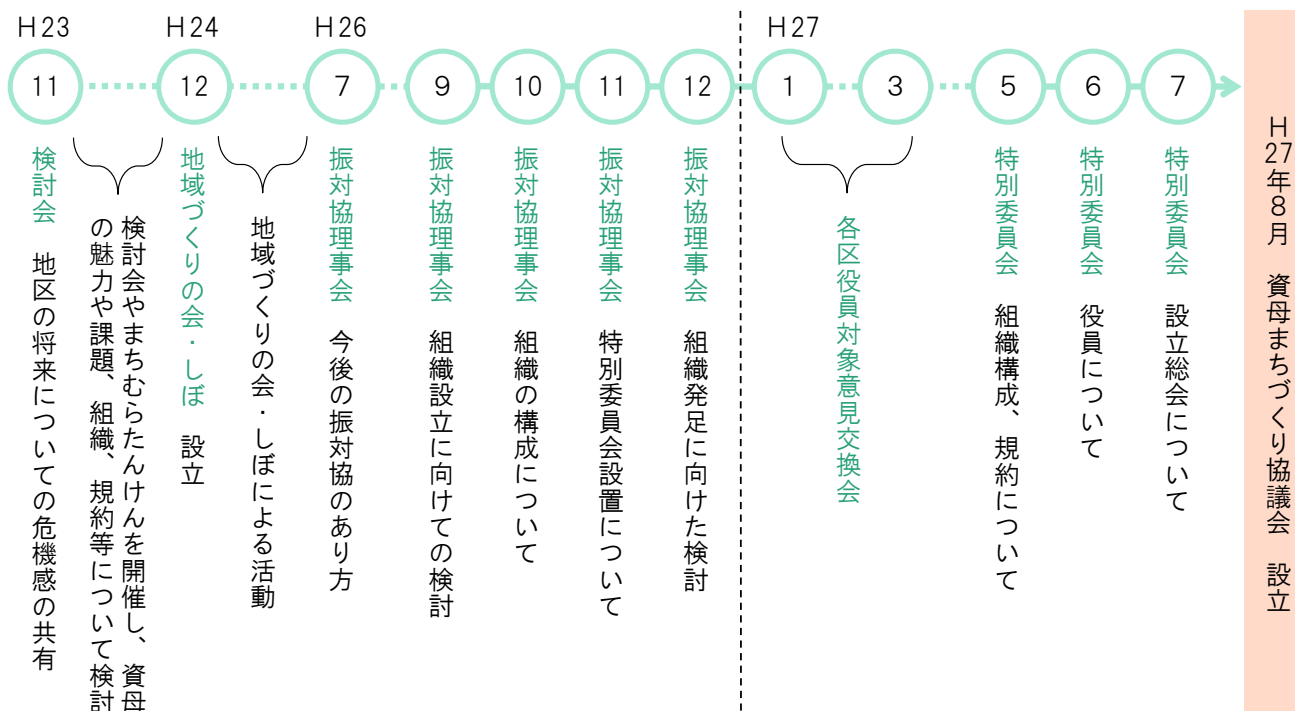
人口	1,756 人	小学校	資母小学校（児童数 67 人）
世帯数	684 世帯	中学校	なし（但東中学校区）
高齢化率	43.5%	幼稚園	なし
集落数	17	保育園	なし
		こども園	資母認定こども園（園児数 36 人）

組織の状況

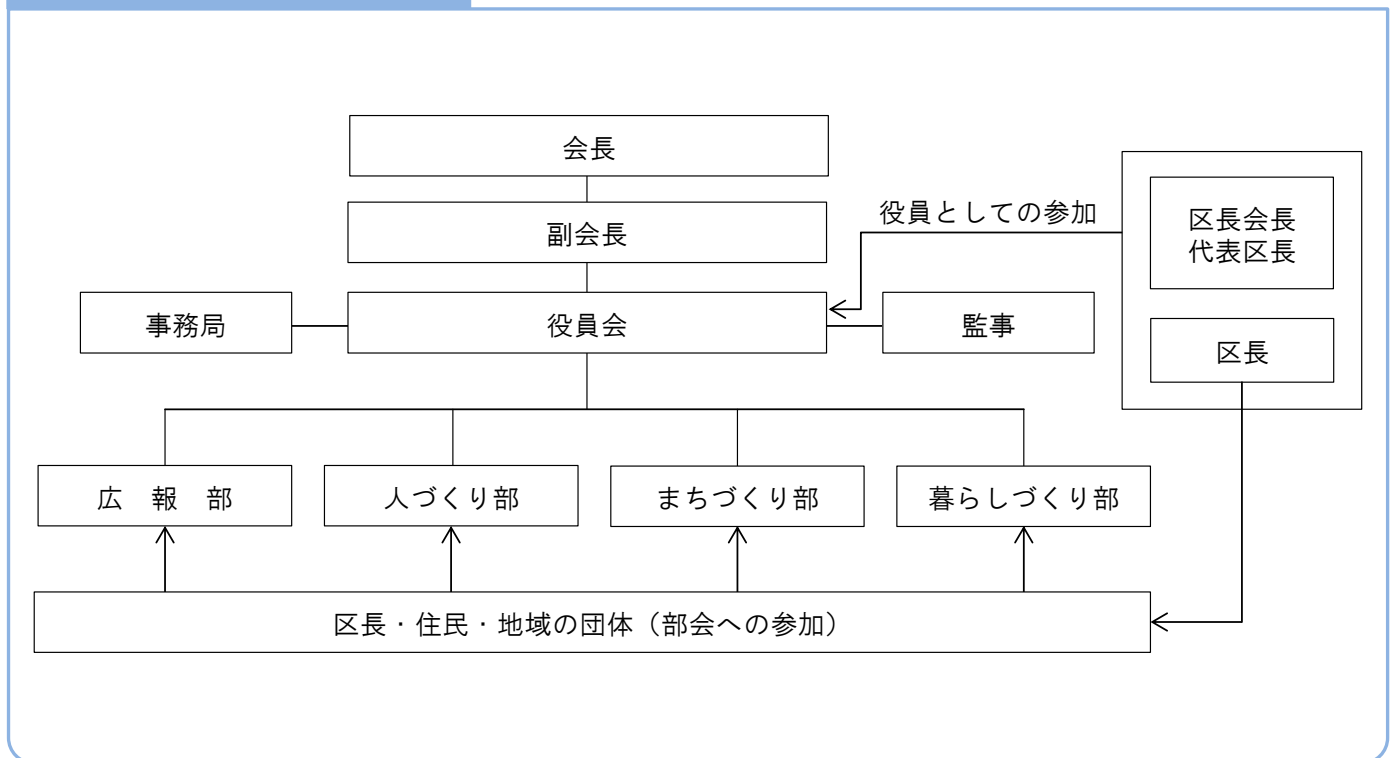
代表者名 柴原 重春
 設立年月日 H27.8.30
 役員体制 会長 1 名、副会長 2 名、理事 8 名（各部の正副部会長）、監事 2 名、事務局長 1 名
 顧問 2 名

設立までの経過

*平成 26 年 4 月モデル開始



組織図



はじめの第一歩計画

スローガン～人が集い、ともに考え、いきいきと働ける資母～

広報部

- ・インターネットを使った資母地域の情報発信
- ・広報誌の発行

人づくり部

- ・子育てがしやすいまち (子育て支援)
- ・人づくりマイスターを探せ (人材の発掘)
- ・若者・夢プロジェクト
- ・困ったことを受け止め、共に考える。

まちづくり部

- ・農地の活用促進、放棄田等の解消・美化 (地区との連携)
- ・農産物生産と販売拡大 (地域づくりの会との協働)
- ・農業教室の開設 (PTA、学校、公民館等)
- ・観光の振興 (イベントへの積極的な参加)

暮らしづくり部

- ・地区と消防団との関係づくり (地域防災)
- ・安心して利用できるチクタクのシステムづくり
- ・危険な廃墟を増やしたくない (空家対策)
- ・安心と生きがいづくり (救急情報キットの設置)

全体

- ・地域懇談会の実施
- ・地域情報の集約と発信
- ・地域内の各種団体及び事業への積極的な参加と協働
- ・研修及び協議の場づくり
- ・資母まちづくり計画の策定

分野別取組み内容

地域振興

- ①空き家対策（空き家調査等）
- ②資母小学校の秋季運動会を地域で盛り上げる活動
- ③資母小学校を拠点とした活動（ラジオ体操）
- ④「きれいな資母に」（景観を美しくするための活動）
- ⑤子どもの見守り活動
- ⑥広報紙「資母発見伝」発行

地域防災

- ①安心・安全キット普及活動
- ②普通救命講習
- ③消防団による活動

地域福祉

- ①チクタク資母
- ②サロン活動
- ③歩キング体操の推進
- ④一人暮らし老人宅の除雪、見守り

人づくり

- ①宝まつり
- ②じゃがじゃがまつり
- ③宝市場
- ④歴史講座
- ⑤地域の人材の紹介、文化の継承
- ⑥乳幼児教室「ちゅうりっぷくらぶ」
- ⑦放課後子ども教室
- ⑧公民館各種教室

コミュニティの取組み



平成 27 年 8 月に資母まちづくり協議会が発足するまでは、「地域づくりの会・しほ」が主体的に活動を進めてきました。

これまでに、広報紙「資母発見伝」を第 46 号まで発行し、地域情報として地域の皆さんの意識を共有するとともに、地域外の人々にも毎月約 200 部を郵送配布しています。

また、歴史の再発見や伝承にも努め、荒地の景観を保つためにひまわり園を設置しました。

草刈りボランティアや地域イベントへの手伝いと参加・協力により

協働の心が育ち、11 月に開催している「資母の宝まつり」で地域の力が結集します。

そんな地域の活動は、新たに発足した「資母まちづくり協議会」に受け継がれ、さまざまな団体や住民の活動を支援し、共に行動するコミュニティを目指して、少しずつ歩みを始めています。

《一人一人が大切にされ、安心して暮らせるまち、資母をめざして!》

いつも楽しみながら地域づくりの活動に参加しています。

資母は、春はチューリップまつり、夏は食べ物を持ち寄って夕涼み、秋は秋祭り、冬はご高齢者のお宅の雪かきなど、四季を通じて隣近所と声を掛けあいながら生活しています。

地区外の人にもこの良さを知ってもらって、「良いところですね」とか、「また来たい」などと言ってもらえると嬉しいですし、そう言ってもらえるように資母の魅力を多くの人に伝えていきたいです。



沖中久子さん
(地域の応援隊)

合橋地域づくりの会



地区の概況

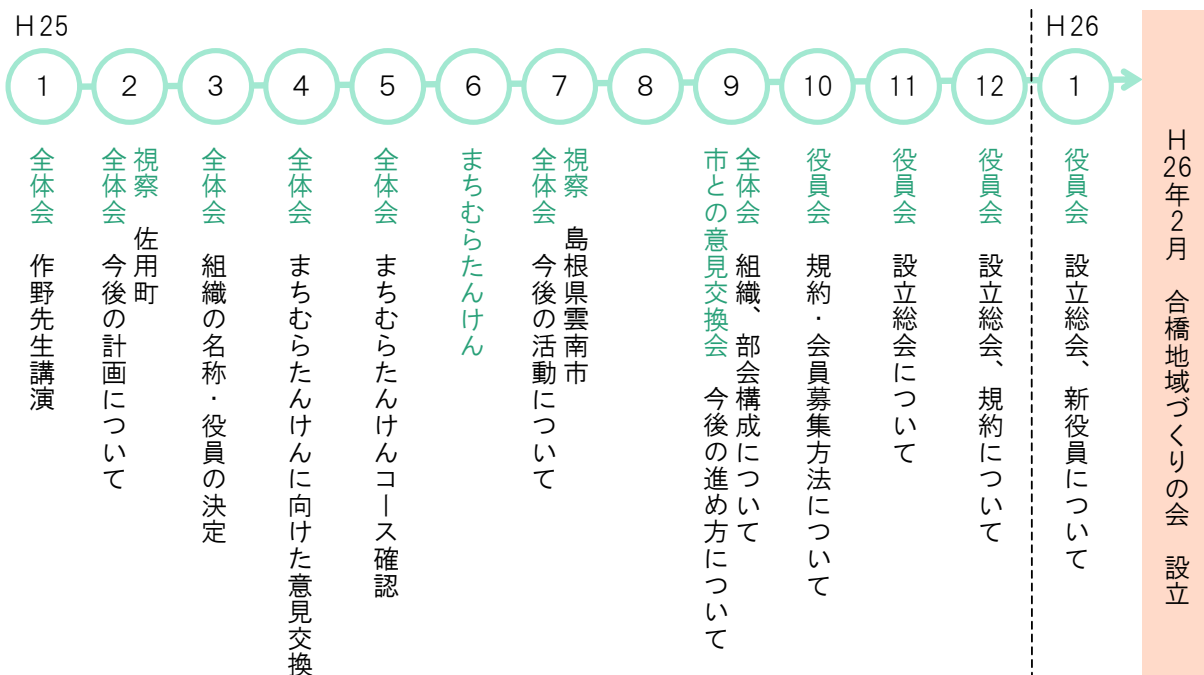
人口	1,776人	小学校	合橋小学校（児童数 77人）
世帯数	660世帯	中学校	但東中学校（生徒数 106人）
高齢化率	36.0%	幼稚園	なし
集落数	15	保育園	なし
		認定こども園	合橋認定こども園（園児数 46人）

組織の状況

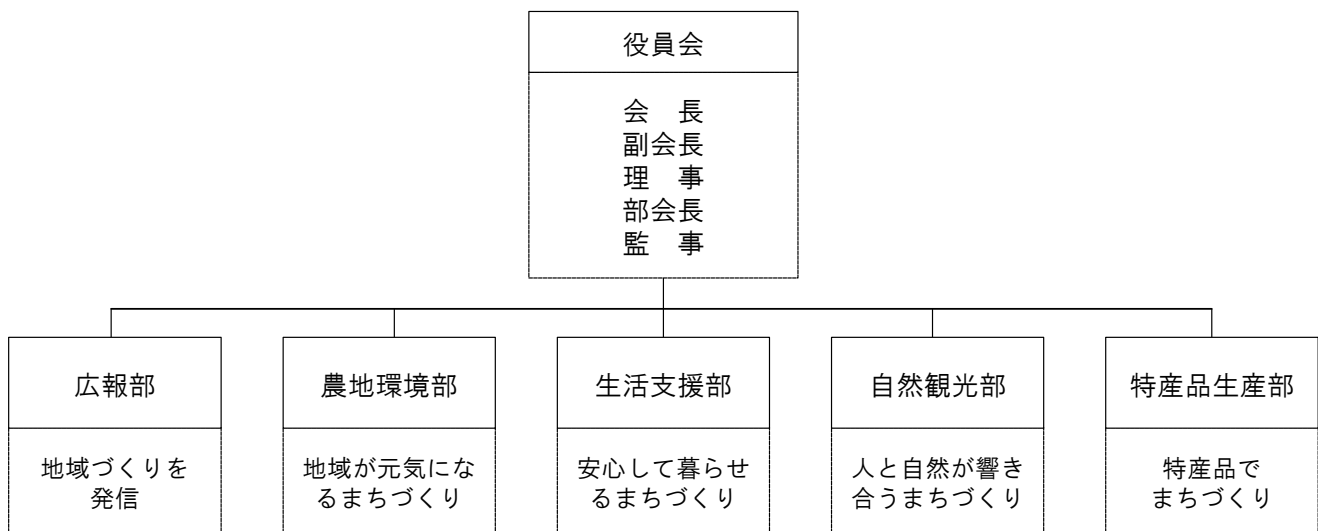
代表者名 宮嶋 幸広
 設立年月日 H26.2.8
 役員体制 会長1名、副会長2名、理事4名、各部会長5名、監事2名

設立までの経過

*平成26年4月モデル開始



組織図



はじめの第一歩計画

合橋地域づくり計画

誇れること、自慢できることがある合橋。
住んでいてよかったと思える合橋をめざして！

策定経緯

過疎化が進む中、合橋地区で起こる様々な課題に対し、地域自らが自分の課題と認識し、主体的に取り組みを展開するため、平成26年4月に策定。

策定手法

役員が主体となり、地域の課題や魅力、また地域固有の伝統文化などを整理し、合橋地区の豊かな未来を実現するためにはどうすればよいのかなどの検討を行い策定した。

将来の地域ビジョン

- ・ 自然の魅力が溢れる地域づくり
- ・ みんなが安心して暮らせる地域づくり
- ・ ふるさと合橋 誇りと豊かな心を育む地域づくり
- ・ 特性を活かした活気ある地域づくり
- ・ 訪れてみたくなる美しい地域づくり
- ・ 自分達の地域は自分達で守る地域づくり

分野別取組み内容

地域振興

- ①特産品開発 鮎のヘシコ、ウドの塩漬
け、きな粉あめ、バラジャムの販売
- ②彼岸花の植栽
- ③各種イベント出店
- ④広報紙「ぼちぼち」の発行
- ⑤合橋「わくわく農場」運営
- ⑥空き家古民家対策
- ⑦大阪経済大学との交流

地域防災

- ①普通救命講習
- ②各地区防災マップの確認
- ③各地区避難訓練
- ④消防団による活動

地域福祉

- ①チクタク合橋
- ②まごのて活動
- ③買い物ツアー
- ④一人暮らし高齢者お弁当配達
- ⑤小学校福祉授業
- ⑥歩キングイベント
- ⑦サロン活動

人づくり

- ①グラウンドゴルフ大会
- ②乳幼児親子学習サークル
- ③各種サークル活動
- ④公民館各種教室

コミュニティの取組み



きな粉あめ、鮎のヘシコ、バラジャム等の『特産品開発、販売』、高齢者の方のちょっとした困りごと（薬の受け取りや買い物代行、電球の取り換えなど）をお手伝いする『まごのて活動』、買い物に行きたくても行けないが、やっぱり商品を手にとって選びたいという声をサポートする『買い物ツアー』を継続して実施しています。

平成 27 年度からは新たな取組みとして、『合橋わくわく農場』の運営を始めました。農場にはさつま芋 3 種類を植え付けし、イベントで焼

き芋として販売する等、耕作放棄地対策のひとつとして取り組んでいます。

また、大阪経済大学のスタディツアー（8月3日～4日）や地域社会調査（11月19日～22日）の受け入れを行いました。受け入れを通じて大学生との交流を進めていくことで、協働の地域づくり活動にも力を入れていきたいと考えています。

現在、「合橋地域づくりの会」は 100 名近くの会員数となっておりますが、部会ごとの活動がメインとなっていて、異なる部会に所属する会員同士の繋がりが薄いのが現状です。今年度は全会員を対象にした取組みを企画し、会員同士の繋がりをさらに深めていきたいと考えています。

また、会員はお年寄りが多いですが、普段はなかなか交流する機会がないので、副会長をやらせていただく中で、そういう機会をもらえることにとっても感謝しています。



谷垣洋一郎さん
（同会 副会長）

高橋振興対策協議会



地区の概況

人口	917人	小学校	高橋小学校（児童数32人）
世帯数	364世帯	中学校	なし（但東中学校区）
高齢化率	42.4%	幼稚園	なし
集落数	10	保育園	なし
		認定こども園	高橋認定こども園（園児数17人）

組織の状況

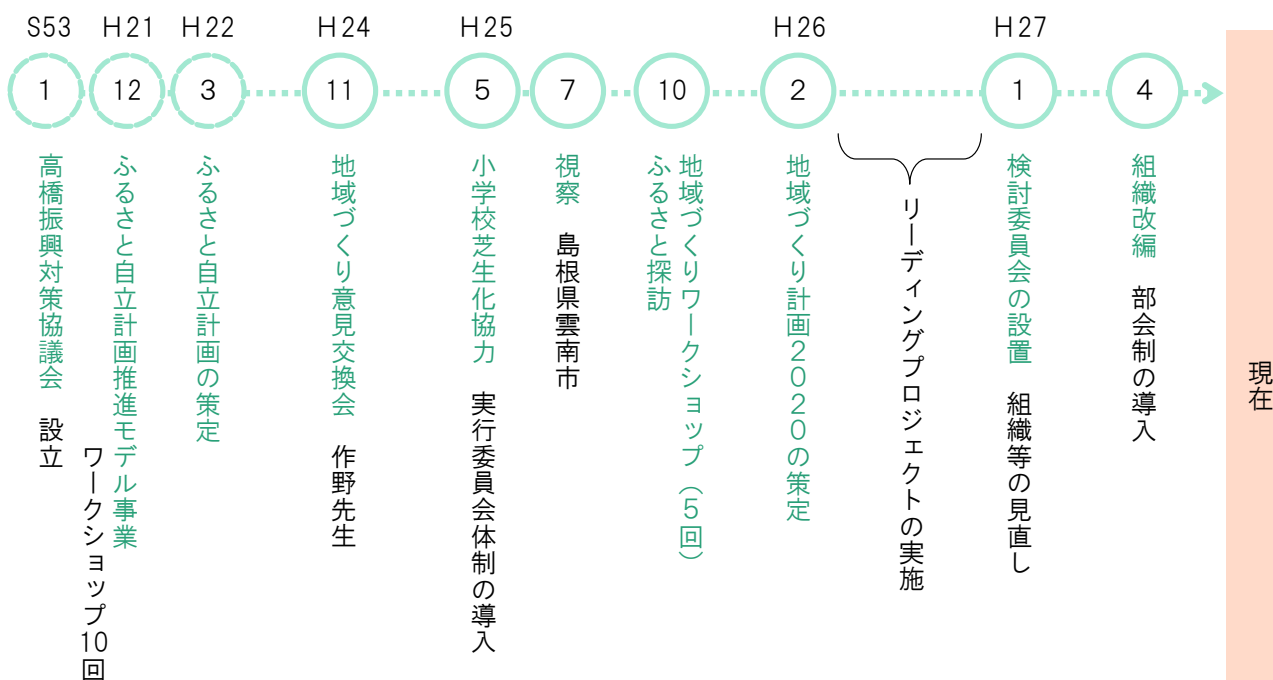
代表者名 田口 保

設立年月日 S53.1.1

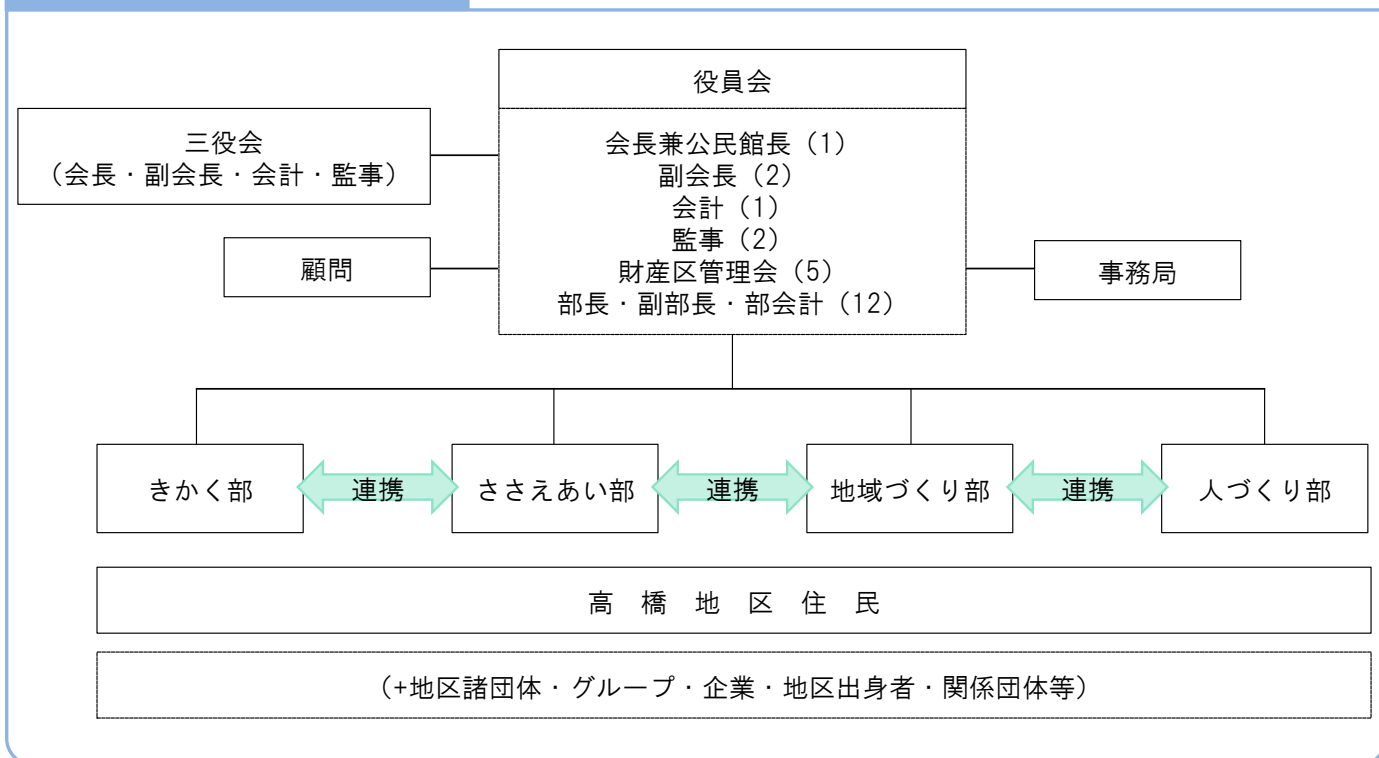
役員体制 会長1名、副会長2名、会計1名、監事2名、理事22名、顧問3名、事務局

設立までの経過

*平成26年4月モデル開始



組織図



はじめの第一歩計画

高橋地区地域づくり計画 2020

策定経緯

平成 22 年 3 月に策定した「高橋地区ふるさと自立計画」に示された 5 年後、10 年後の高橋の将来を見据え、自立し自律した地域づくりを進めるための指針が必要と考え、平成 26 年 2 月に策定。

策定手法

アドバイザーの協力のもと、平成 25 年 10 月から計 5 回の地域づくりワークショップと説明会を開催し、計画としてまとめた。

計画概要

- ① 少子・高齢化社会への対応
- ② 地域住民のふれあい、支え合いの意識の醸成と取組みの促進
- ③ 地域への愛着、ふるさとへの誇りの育み
- ④ 美しく安全で安心して暮らせる生活環境の維持、充実
- ⑤ 地域産業の活性化
- ⑥ 地域づくりの活動の財源確保と実行体制の早期確立
- ⑦ 地域づくりに対する住民の関心と参加意欲の向上

分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①高橋ふれあい市 ②空き家調査 ③空き店舗の活用 ④広報紙「高橋振興対策協議会だより」の発行 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①消防避難訓練 ②普通救命講習 ③消防団による活動
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①声からつくる高橋未来プロジェクト ②サロン活動 	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①高橋校区民大運動会 ②高橋ふるさと探訪 ③English cafe ④校区民ラジオ体操 ⑤そうめん流し&魚つかみ ⑥ジャンボ巻きずし ⑦乳幼児親子サークル「ひまわり広場」 ⑧放課後子ども教室 ⑨公民館各種教室

コミュニティの取組み



これからグローバル社会を迎える中で、自分たちのふるさとの魅力を英語で世界に伝えることができたなら素敵！そんな想いで月に1～2回、中学生や高校生が中心となって、遊びや日常生活の場面を通して幼児や小学生に英語を教える「English cafe」を開催しています。

平成26年度は9回開催し、中学生11人、高校生4人、小学生以下35人が参加しました。認定こども園、小学校、中学校、高校と連携を取りながら取組みを進めています。

また、ふるさとである高橋を知

り、魅力を再発見するため、高橋地区内を巡る「ふるさと探訪」を実施しました。当日は、地域と子ども達とともに汗を流して地域の魅力探しをしたことで、世代間交流が図られました。さらに、ずっと住んでいる人も新たな発見があり、また開催してほしいと好評でした。

ただ、今回は122人という想定以上の参加者だったため、安全確保に不安が残りました。また、探訪を受け入れる地区は案内やおもてなしといったことに負担を感じた方もおられたようです。

平成26年度、高橋振興対策協議会は3つのリーディングプロジェクトを実行委員会体制で取り組みました。しかし、これから先も取組みを継続していくためには新たな体制が必要であると考え、「コミュニティ組織を考える検討委員会」において組織体制を検討し、平成27年4月から「部会制」を導入しています。

「全員参加で創ろう 助けあいの輪」をスローガンに、『住民主体の地域づくりを図り、地域課題を解決し、「住民自ら考え、行動し、楽しさや喜びを実感できる」ことを目指す。』という目的を達成するため、今後も取組みを進めていきたいと考えています。

豊岡市新しい地域コミュニティ導入ガイドブック
平成 27 年度 モデル地区事例集

発行者：豊岡市 地域コミュニティ振興部 コミュニティ政策課
〒668-8666 兵庫県豊岡市中央町 2-4
電話 (0796) 21-9020 FAX (0796) 29-0054
Eメール community@city.toyooka.lg.jp

問合せ：■豊岡地域 コミュニティ政策課 21-9020 (総合窓口)
■城崎地域 城崎振興局地域振興課 32-0001
■竹野地域 竹野振興局地域振興課 47-1111
■日高地域 日高振興局地域振興課 42-1111
■出石地域 出石振興局地域振興課 52-3111
■但東地域 但東振興局地域振興課 54-1000